

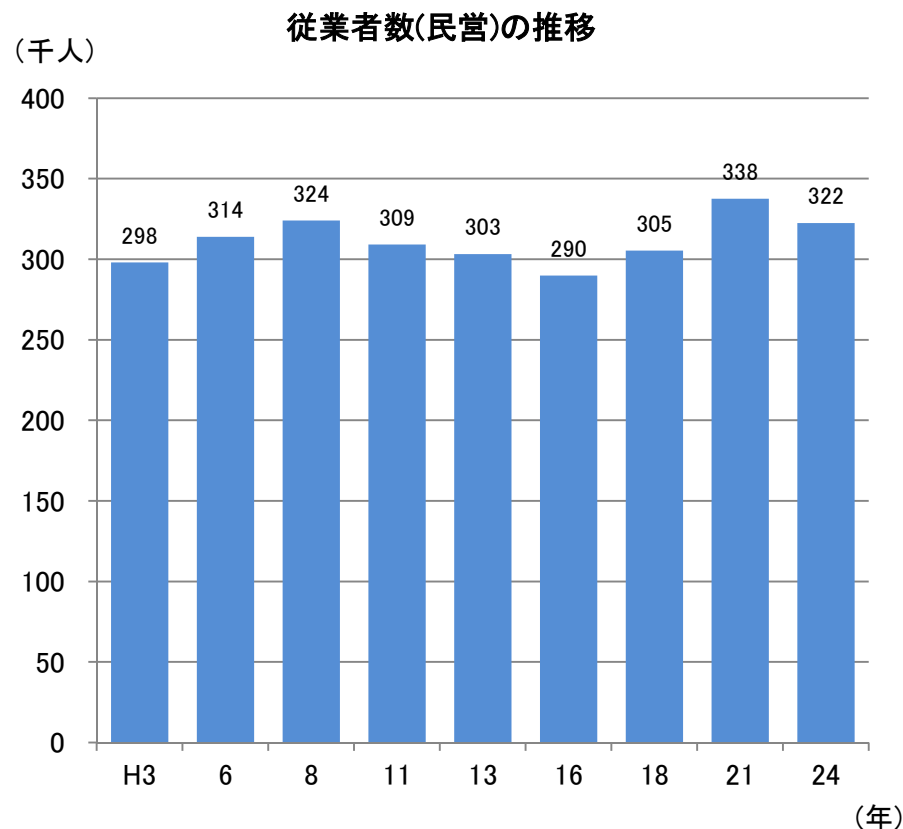
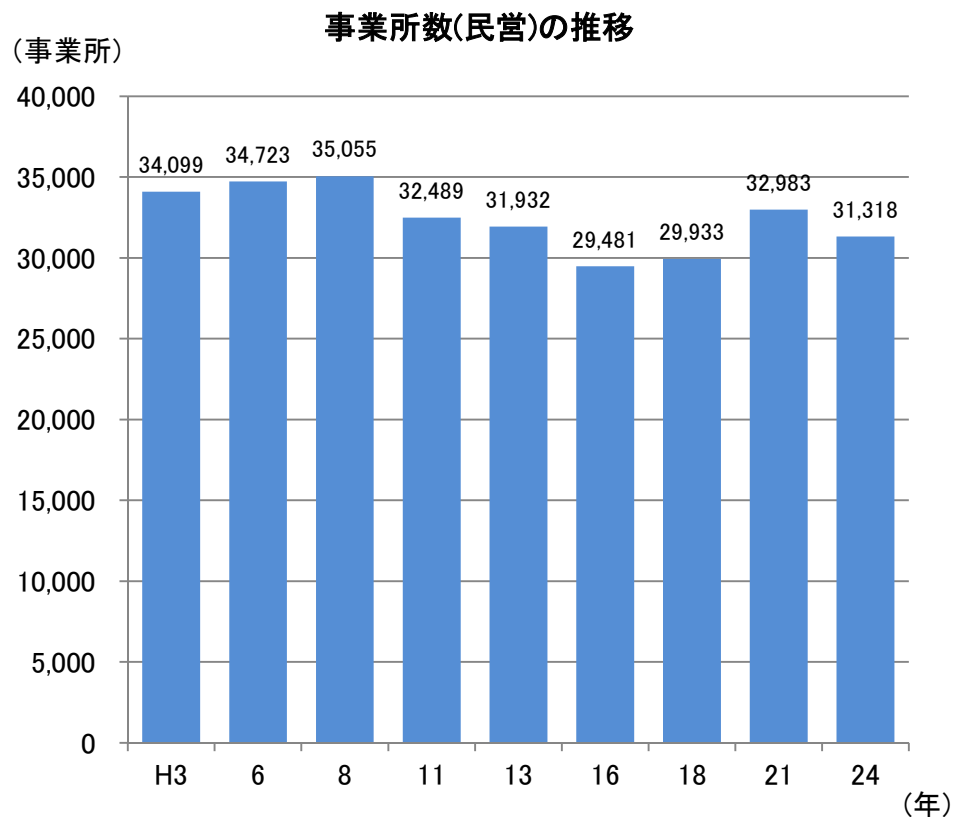
平成27年度  
第1回基本政策審議会資料

～岡山の活力の創造と調和のとれた都市づくり～

①産業・経済・雇用、観光・交流、農業

# 岡山市の事業所数、従業者数の推移

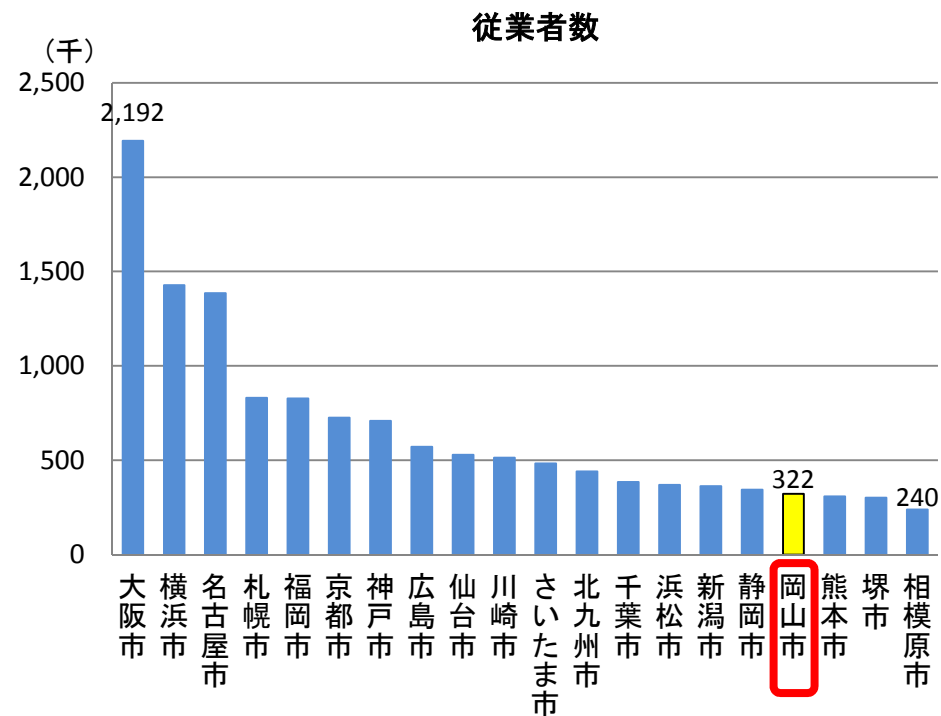
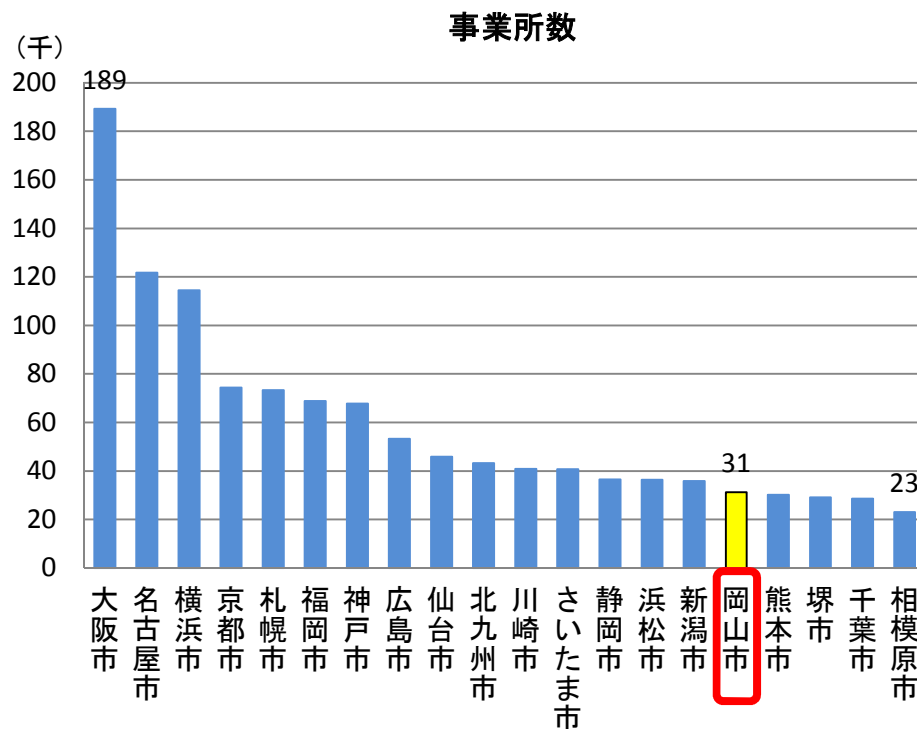
- 岡山市における平成24年の事業所数(民営)は、約3万1千事業所である。
- 岡山市における平成24年の従業者数(民営)は、約32万2千人である。



資料: 総務省「事業所・企業統計調査」(H18まで)  
総務省「経済センサス」(H21から)

# 指定都市別 事業所数、従業者数

○岡山市の事業所数(民営)は約3万1千事業所であり、指定都市の中で16位である。  
○岡山市の事業所(民営)の従業者数は約32万2千人であり、指定都市の中で17位である。

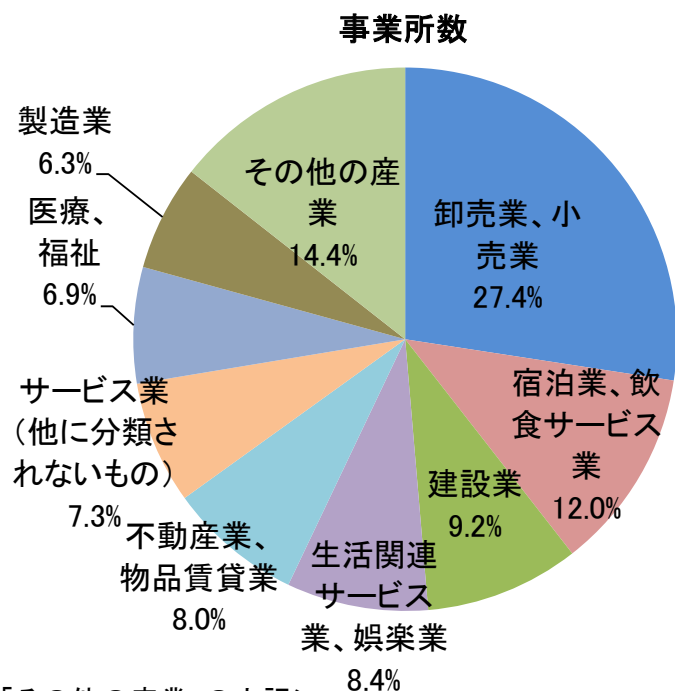


資料:総務省「経済センサス(H24)」

# 岡山市の産業分類別の事業所数、従業者数

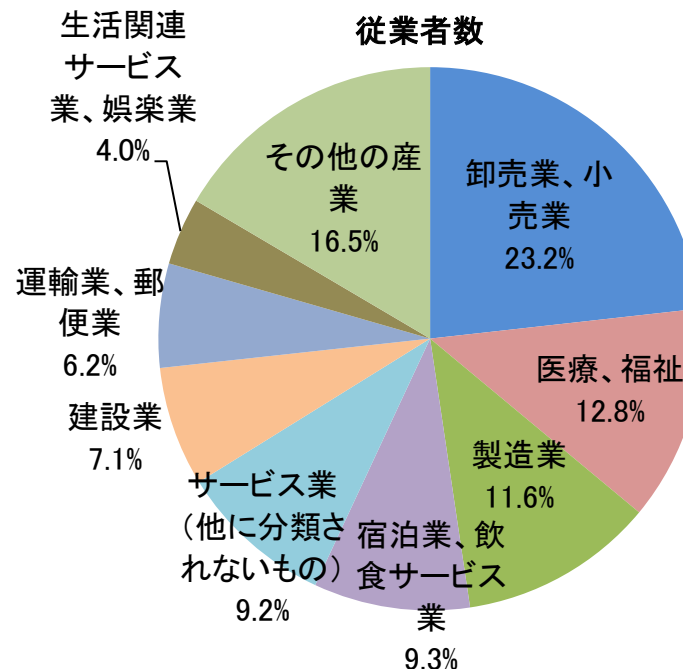
○岡山市における事業所数(民間)の構成比を産業分類別にみると、最多は卸売業、小売業(27.4%)であり、次いで宿泊業、飲食サービス業(12.0%)、建設業(9.2%)となっている。

○岡山市における従業者数(民間)の構成比を産業分類別にみると、最多は卸売業、小売業(23.2%)であり、次いで医療、福祉(12.8%)、製造業(11.6%)となっている。



<「その他の産業」の内訳>

学術研究、専門・技術サービス業	4.8%
教育、学習支援業	2.7%
運輸業、郵便業	2.4%
金融業、保険業	2.3%
情報通信業	1.4%
農林漁業	0.3%
複合サービス業	0.5%
鉱業、採石業、砂利採取業	0.04%
電気・ガス・熱供給・水道業	0.05%



<「その他の産業」の内訳>

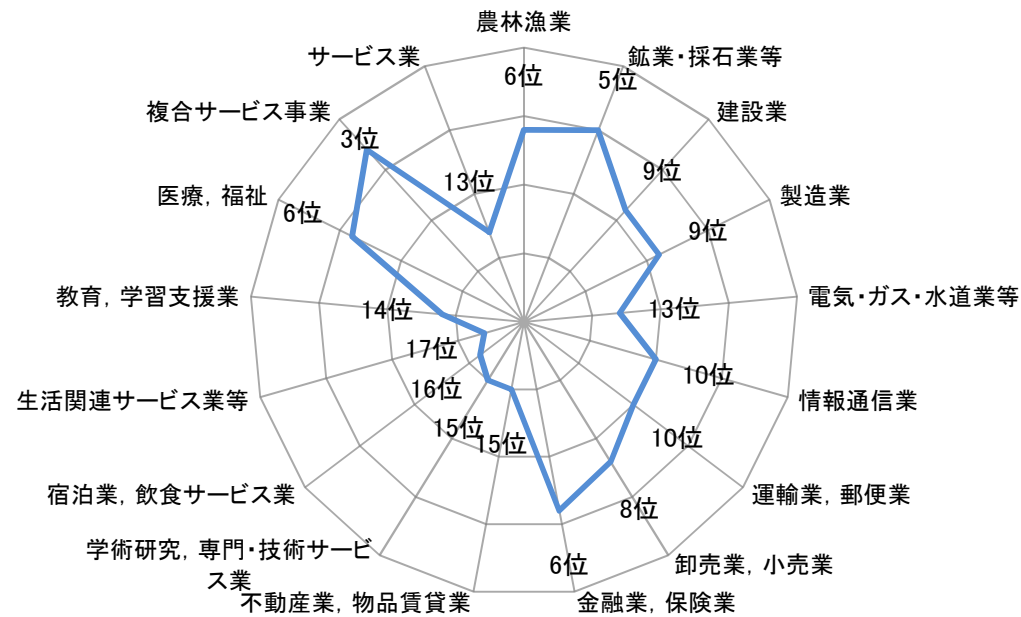
金融業、保険業	3.5%
教育、学習支援業	3.5%
情報通信業	2.8%
不動産業、物品賃貸業	2.8%
学術研究、専門・技術サービス業	2.8%
複合サービス業	0.6%
電気・ガス・熱供給・水道業	0.3%
農林漁業	0.2%
鉱業、採石業、砂利採取業	0.02%

資料：総務省「経済センサス(H24)」

# 産業別従業者数の構成比に関する指定都市間の比較

○産業別従業者数の構成比を指定都市間で比較すると、岡山市は農林漁業(6位)、鉱業・採石業等(5位)、金融・保険業(6位)、医療・福祉(6位)、複合サービス事業(3位)などの割合が高い。

産業別従業者数の構成比に関する  
指定都市の中での順位



資料:総務省「経済センサス(H24)」

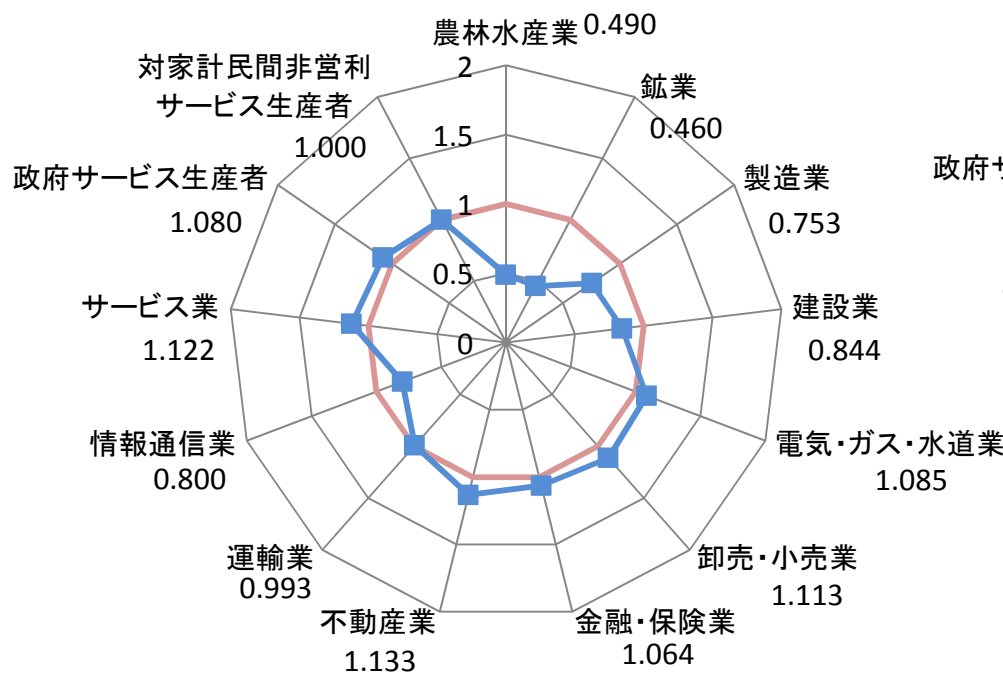
注:複合サービス事業とは、信用事業、保険事業又は共済事業と併せて複数の大分類にわたる各種のサービスを提供する事業所。法的に事業の種類や範囲が決められている郵便局、農業協同組合等が分類される。

# 経済活動別特化係数による国、県、市の比較

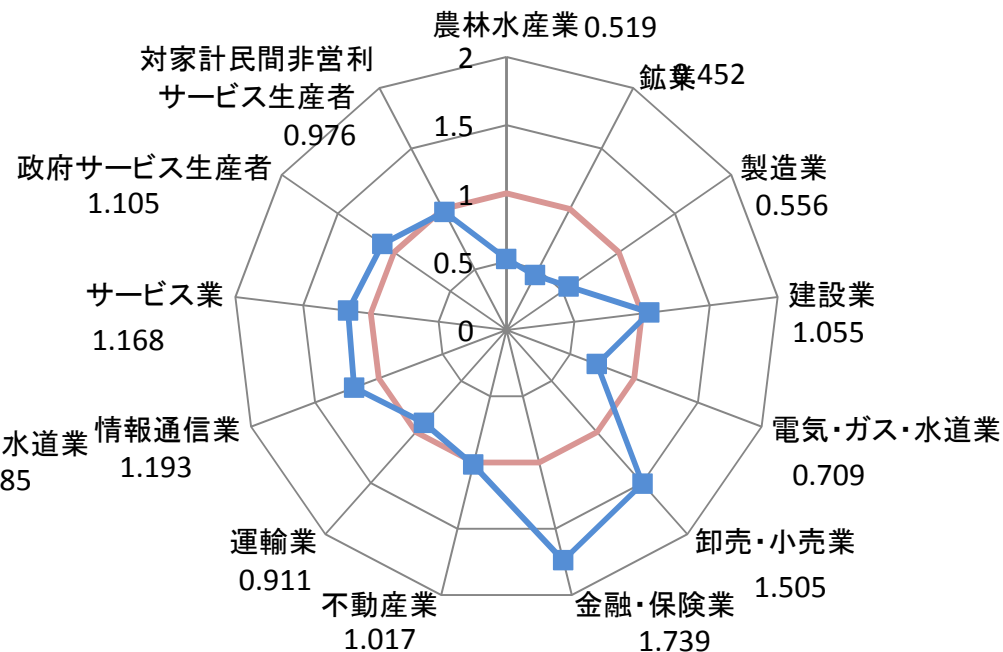
○岡山市の総生産額(名目)の産業別構成比を岡山県、全国の経済活動別構成比で除した「特化係数」をみると、全国水準(特化係数=1)を上回っているのは、電気・ガス・水道業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、サービス業、政府サービス生産者である。

○岡山県水準(特化係数=1)を上回っているのは、建設業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、情報通信業、サービス業、政府サービス生産者である。

全国=1.000



岡山県=1.000

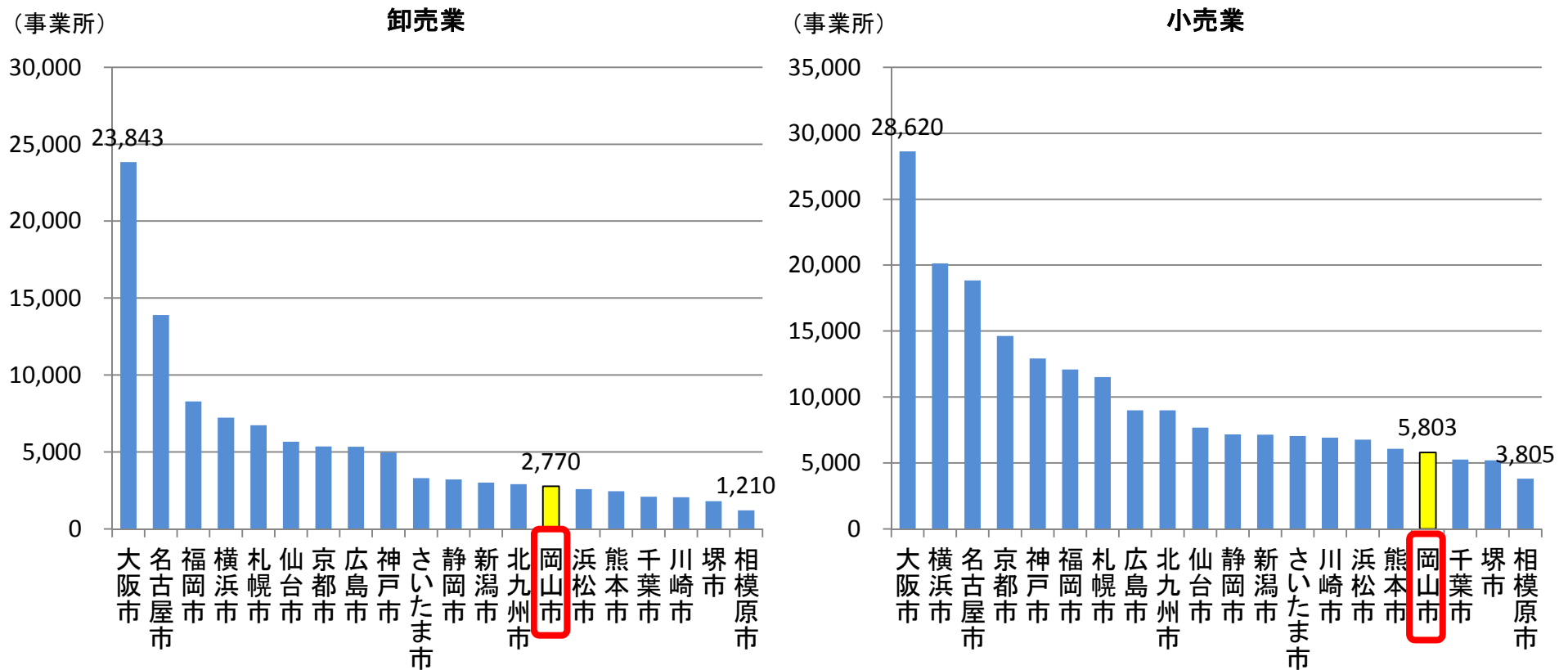


注: 特化係数=産業別構成比(岡山市)÷産業別構成比(全国、岡山県)

資料: 岡山市民経済計算(H24)

# 指定都市別 卸売業、小売業の事業所数

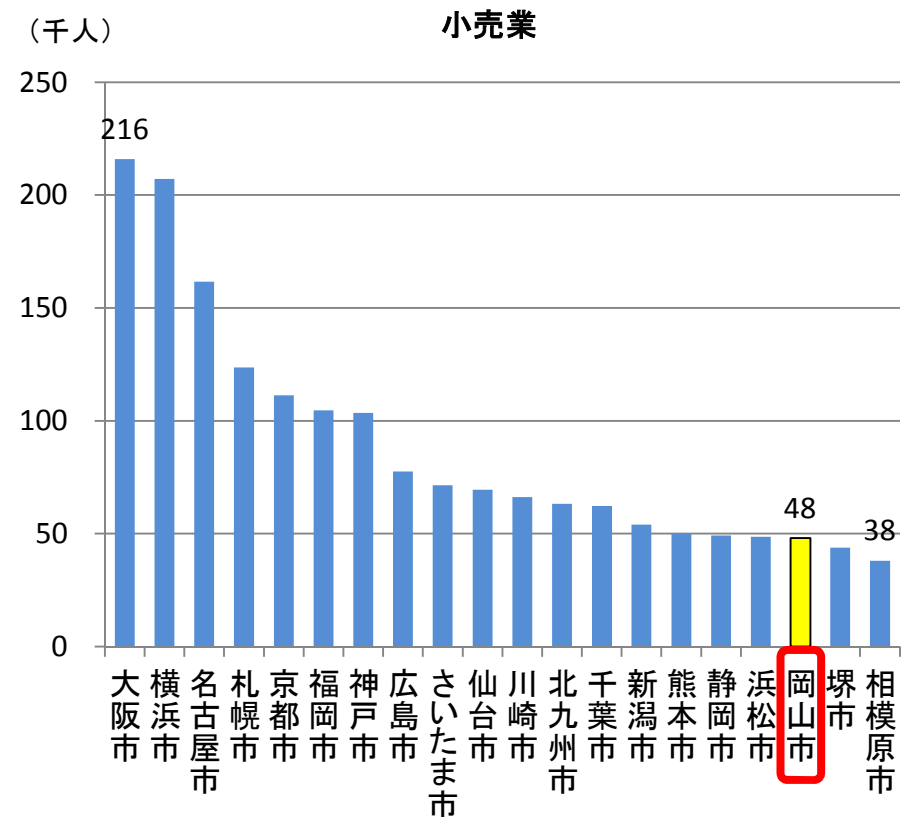
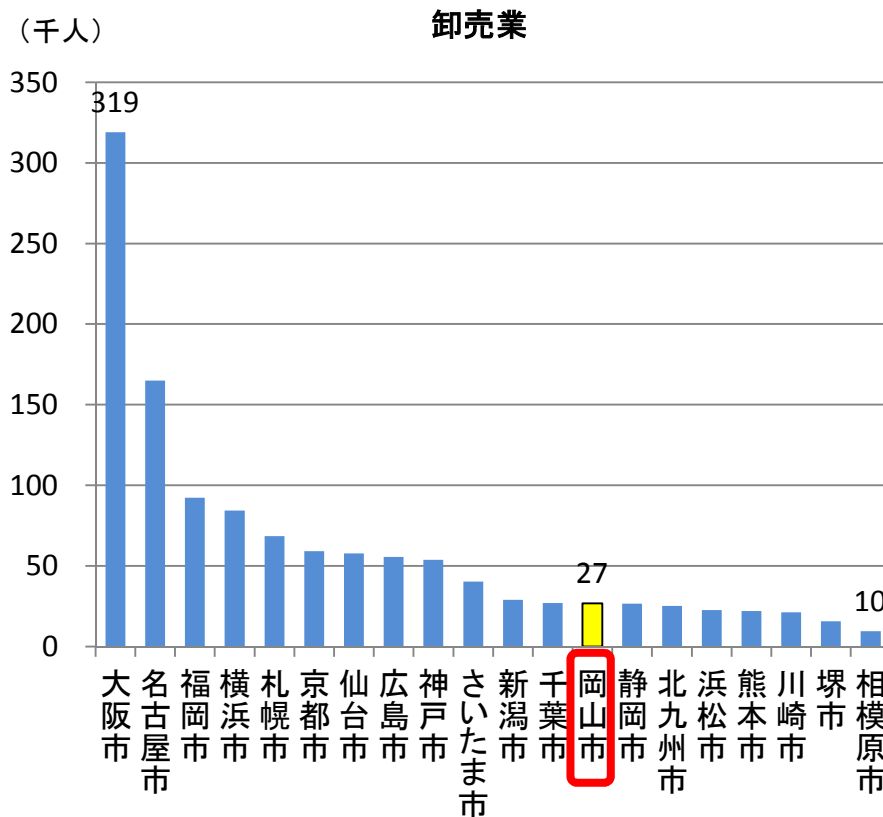
- 岡山市の卸売業の事業所数は2,770事業所で、指定都市の中で14位である。
- 岡山市の小売業の事業所数は5,803事業所で、指定都市の中で17位である。



資料: 総務省「経済センサス(H24)」

# 指定都市別 卸売業、小売業の従業者数

- 岡山市の卸売業の従業者数は約2万7千人で、指定都市の中で13位である。
- 岡山市の小売業の従業者数は約4万8千人で、指定都市の中で18位である。

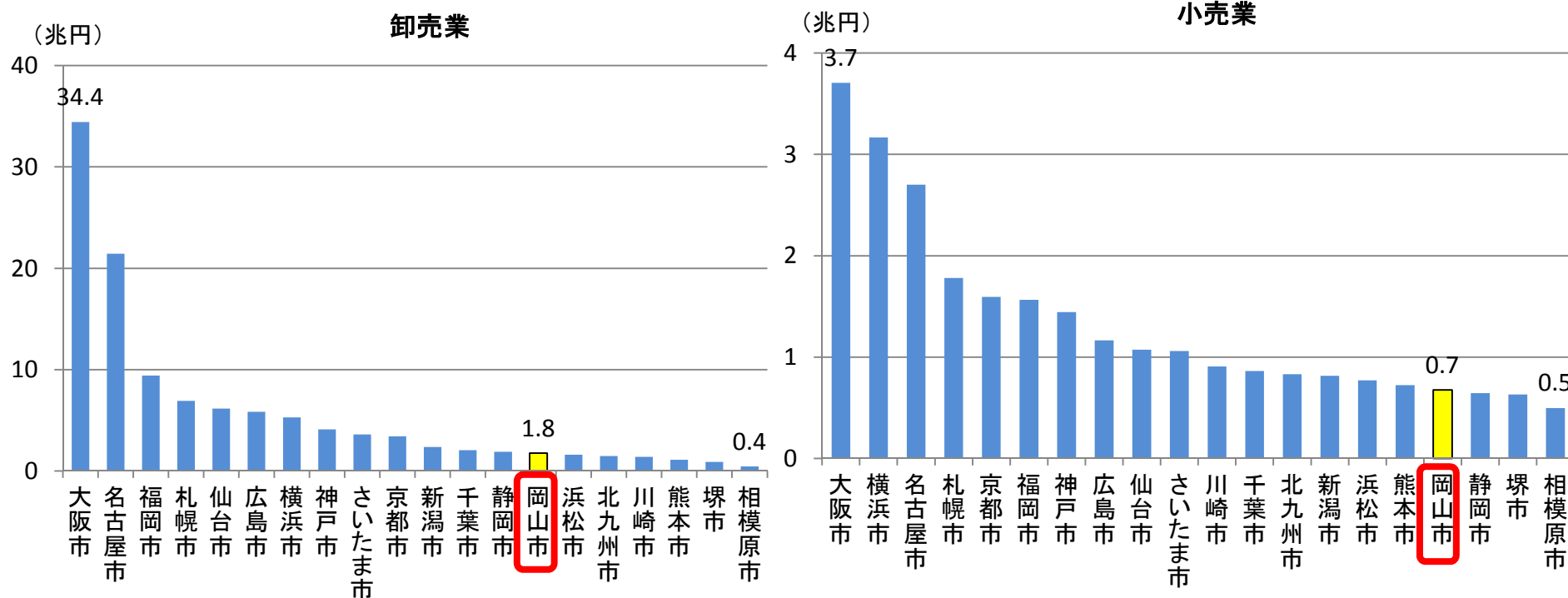


資料: 総務省「経済センサス(H24)」



# 指定都市別 卸売業、小売業の年間商品販売額

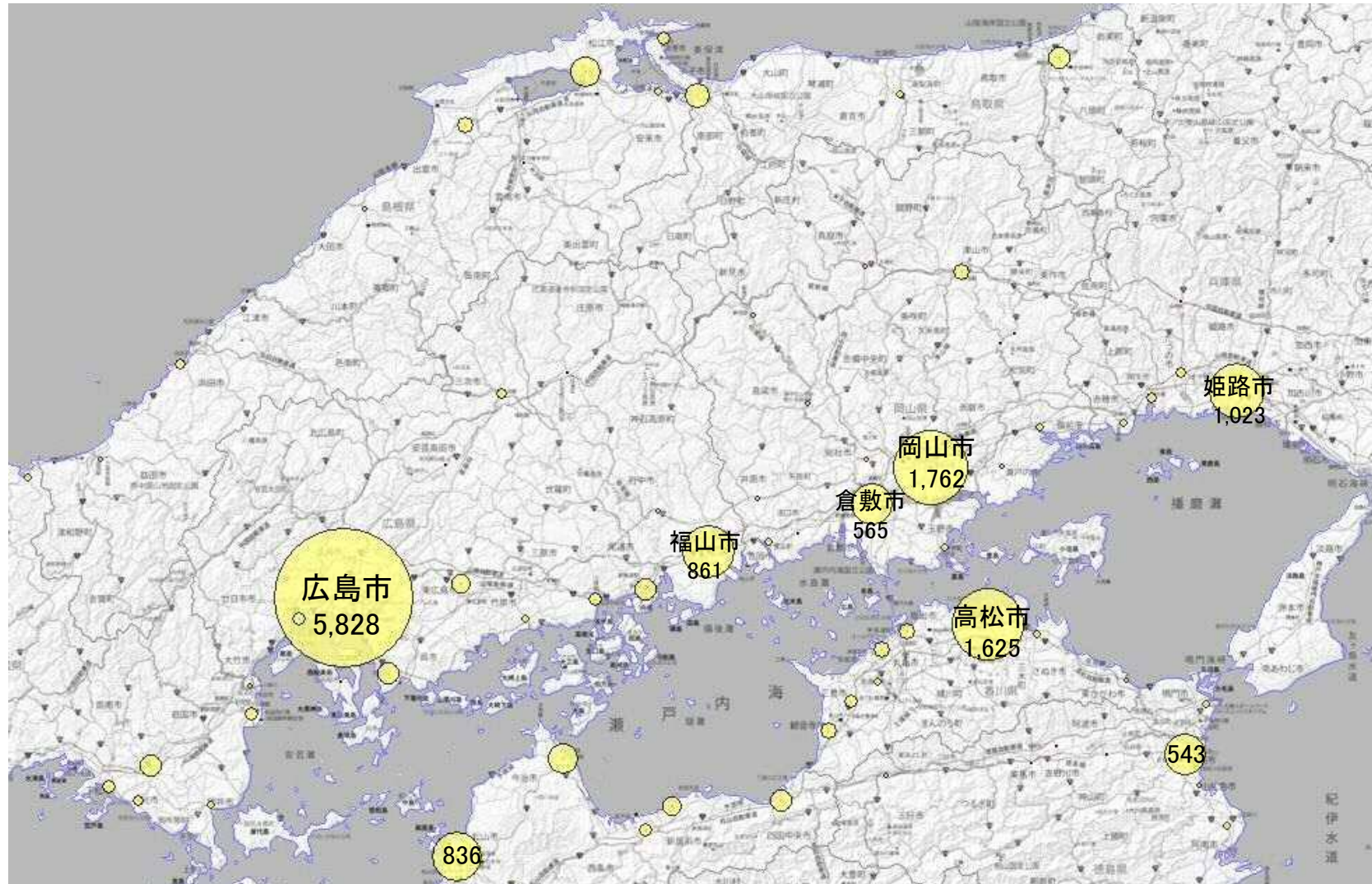
○岡山市の卸売業の年間商品販売額は1兆7,621億円であり、指定都市の中で14位である。  
 ○岡山市の小売業の年間商品販売額は6,743億円であり、指定都市の中で17位である。



資料: 総務省「経済センサス(H24)」

# 岡山市周辺都市の卸売業の年間商品販売額

○岡山市の卸売業の年間商品販売額は1兆7,621億円であり、周辺都市の中では広島市(5兆8,280億円)に次いで2番目に大きい。



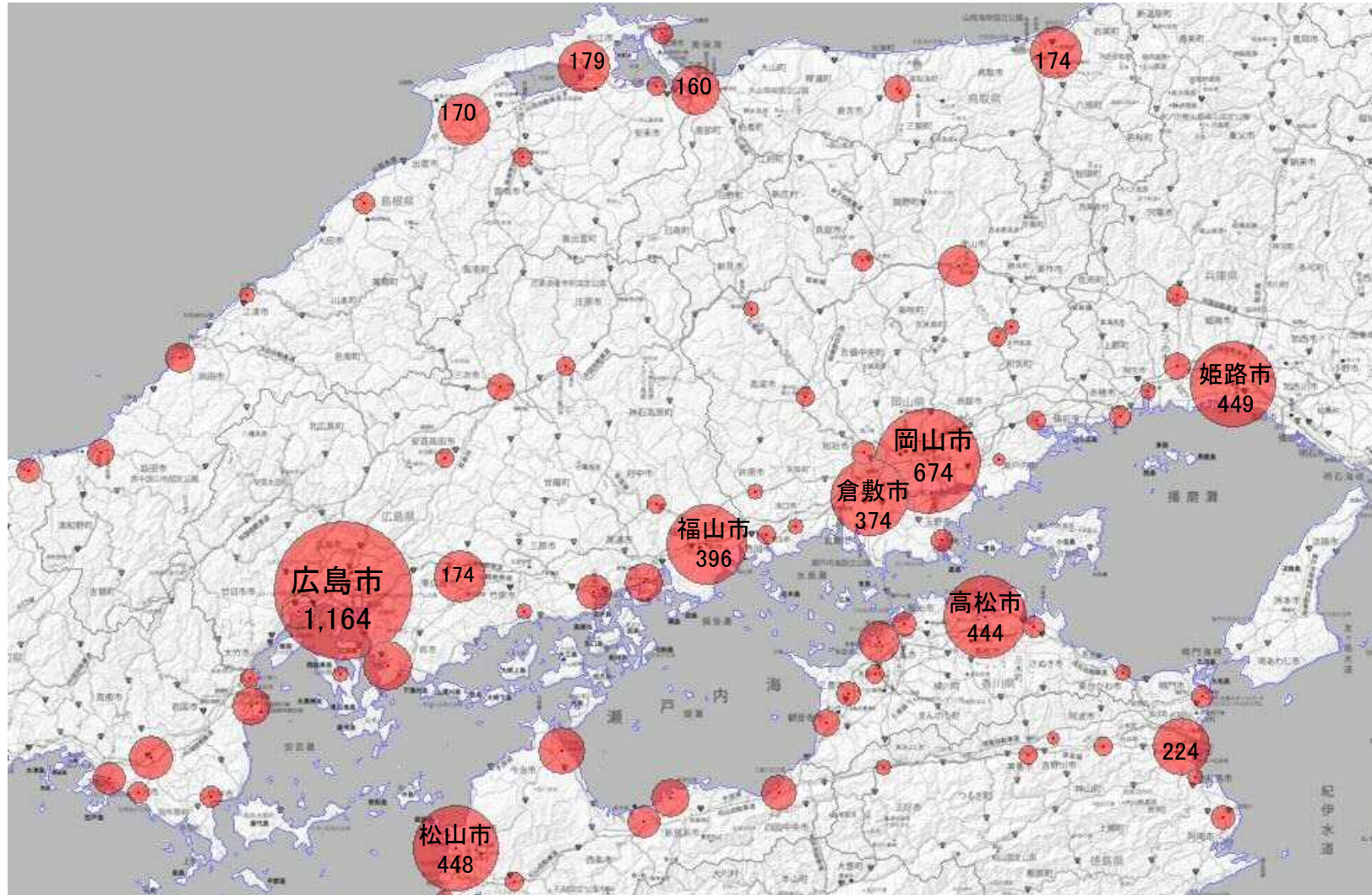
単位：10億円

資料：総務省「経済センサス(H24)」



# 岡山市周辺都市の小売業の年間商品販売額

○岡山市の小売業の年間商品販売額は6,743億円であり、周辺都市の中では広島市(1兆1,641億円)に次いで2番目に大きい。



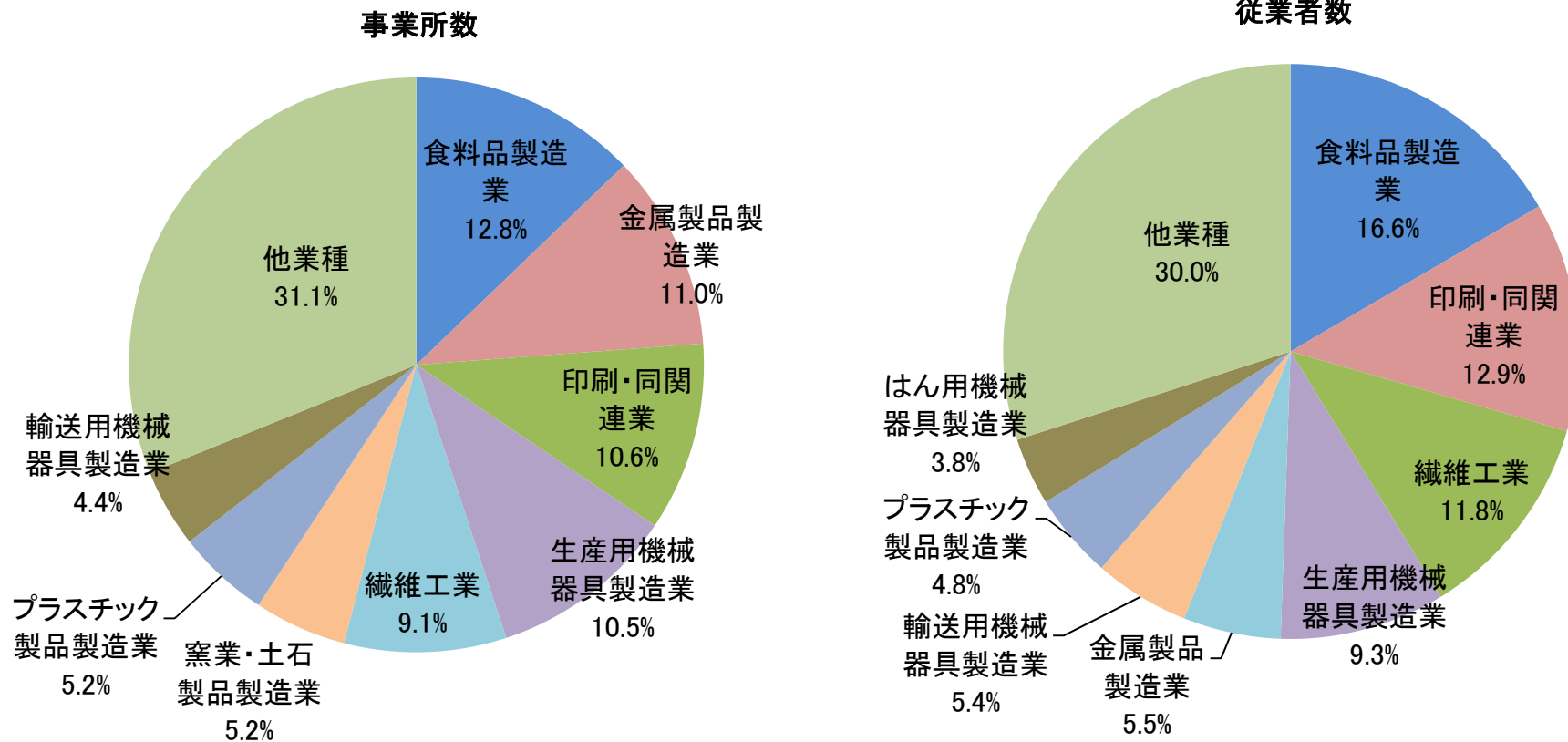
単位:10億円

資料:総務省「経済センサス(H24)」

# 岡山市の製造業別の事業所数、従業者数の構成比

○岡山市における製造業別の事業所数の構成比をみると、最多は食料品製造業(12.8%)であり、次いで金属製品製造業(11.0%)、印刷・同関連業(10.6%)となっている。(事業所数:820事業所)

○岡山市における製造業別の従業者数の構成比をみると、最多は食料品製造業(16.6%)であり、次いで印刷・同関連業(12.9%)、繊維工業(11.8%)となっている。(従業者数:28,093人)



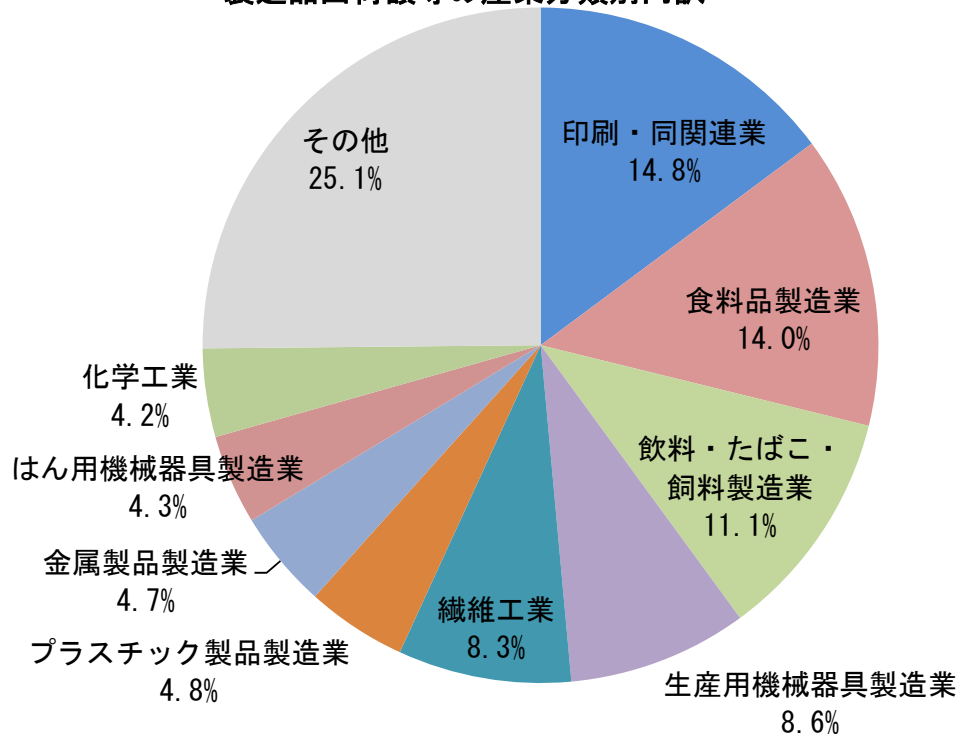
資料:経済産業省「工業統計調査(H25)」

# 岡山市の製造品出荷額等の状況

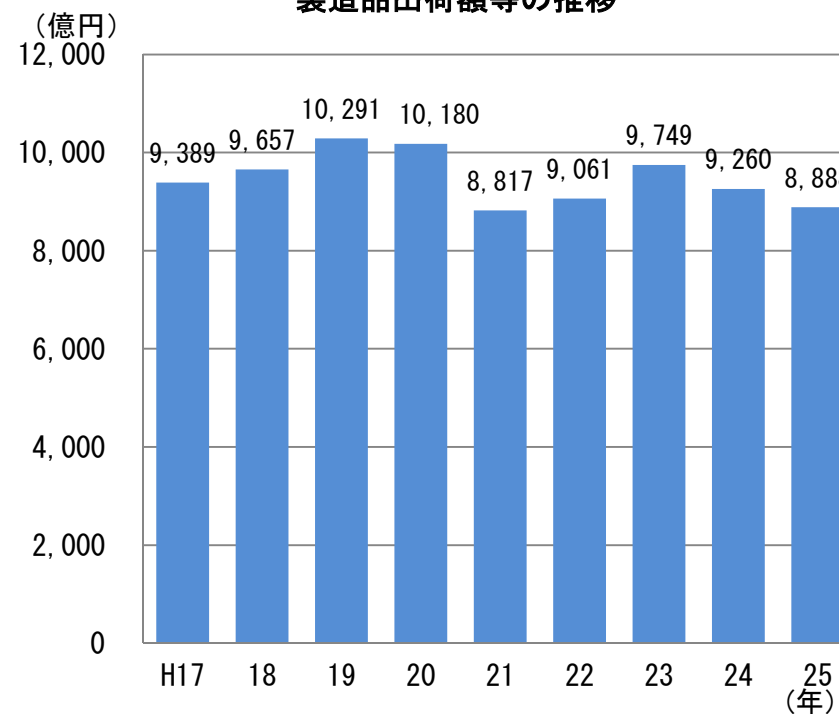
○岡山市における製造品出荷額等の構成比を産業分類別にみると、最多は印刷・同関連業の14.8%であり、次いで食料品製造業(14.0%)、飲料・たばこ・飼料製造業(11.1%)となっている。

○岡山市における製造品出荷額等の推移をみると、平成21～23年にかけてリーマン・ショック後の落ち込みから持ち直したものの、平成24～25年にかけて減少している。

製造品出荷額等の産業分類別内訳



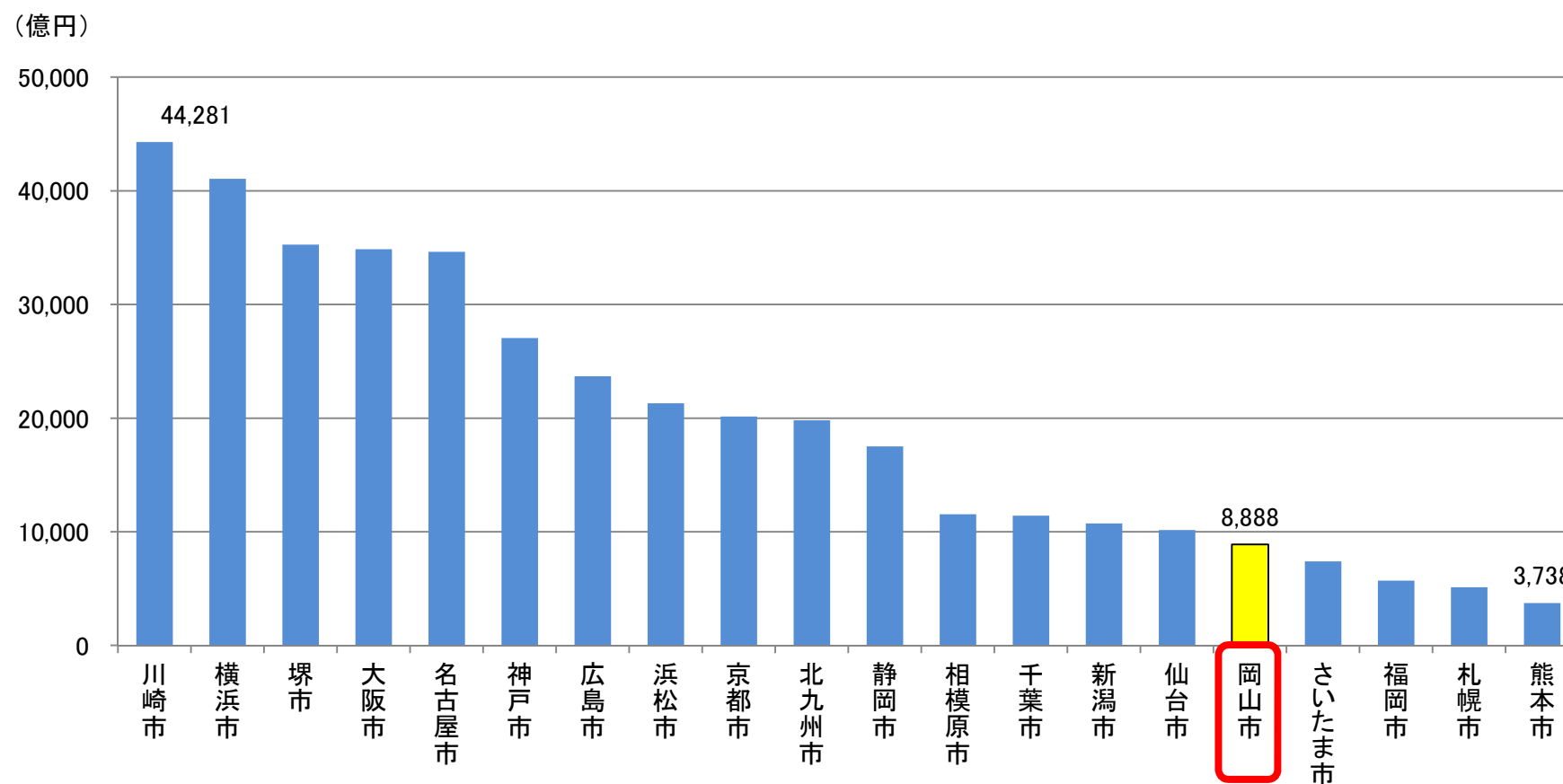
製造品出荷額等の推移



資料:経済産業省「工業統計調査(H25)」

# 指定都市別 製造品出荷額等

○岡山市の製造品出荷額等は約8,888億円であり、指定都市の中で16位である。

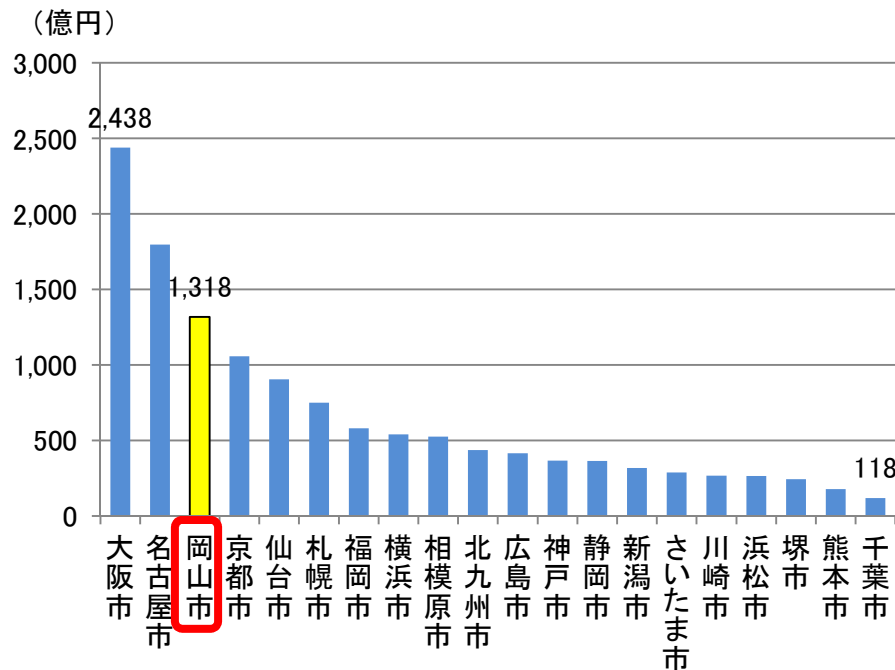


資料: 経済産業省「工業統計調査(H25)」

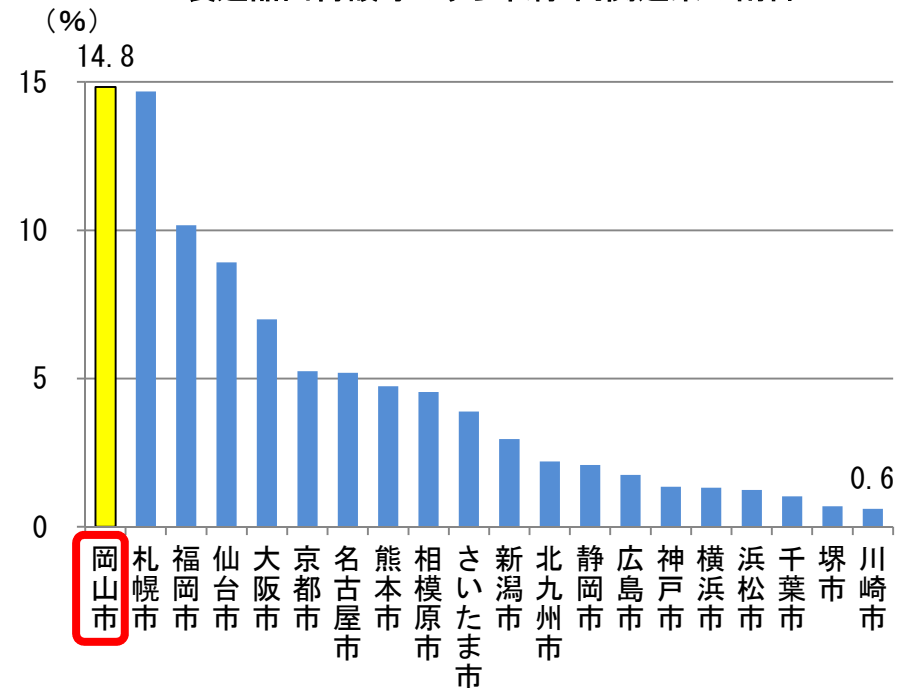
# 指定都市別 印刷・同関連業の製造品出荷額等

○印刷・同関連業の製造品出荷額等を指定都市別にみると、岡山市は約1,318億円であり、大阪市、名古屋市に次いで3番目に多い。  
 ○製造品等出荷額等のうち印刷・同関連業の割合を指定都市別にみると、岡山市は14.8%であり、最も高い。

印刷・同関連業の製造品出荷額等



製造品出荷額等のうち印刷・同関連業の割合

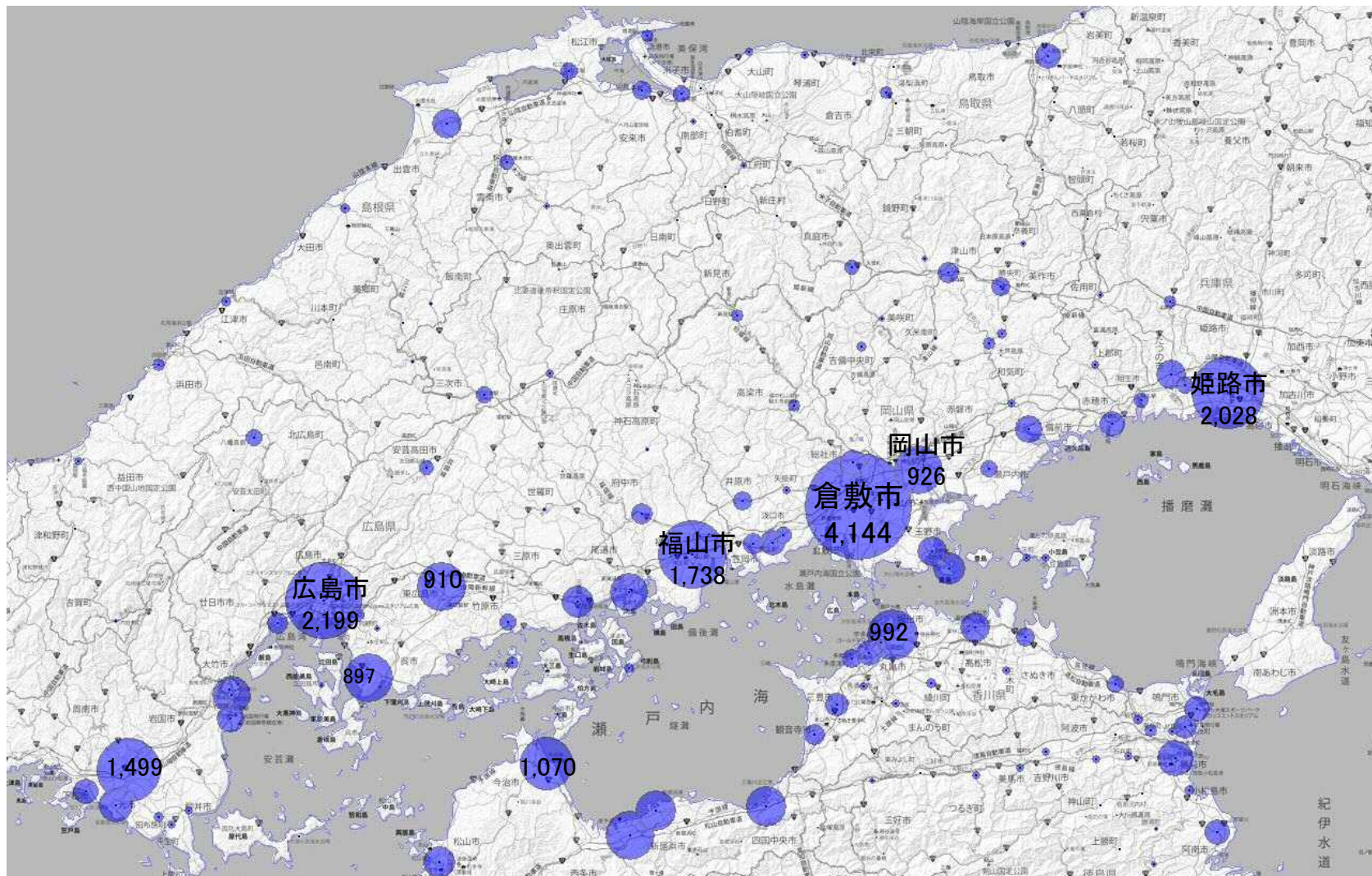


資料: 経済産業省「工業統計調査(H25)」



# 岡山市周辺都市の製造品出荷額等

○平成24年の岡山市の製造品出荷額等は9,260億円であった。周辺都市で製造品出荷額等の最大は倉敷市(4兆1,440億円)であり、次いで広島市、姫路市、福山市などが大きい。



単位:10億円

資料:経済産業省「工業統計調査(H24)」



# 事業所設置、移転意向のある企業が重視する条件

○新たな拠点を整備する計画、もしくは可能性がある企業2,946社を対象にした調査・集計の結果をみると、「交通利便性」、「用地の価格」を重視している企業が多い。

## 工場

順位	条件	構成比(%)
1	既存自社施設の立地状況	36.1
2	用地の価格	26.4
3	交通利便性	26.3
4	用地確保の方法	20.0
5	労働力の確保	18.6
6	得意先の立地状況	13.3
7	自治体の優遇制度	10.1
8	従業員の住環境	9.0
9	消費地までの距離	8.7
10	労働コスト	8.6

## 支店・営業所

順位	条件	構成比(%)
1	交通利便性	52.1
2	得意先の立地状況	32.8
3	用地の価格	24.4
4	用地確保の方法	18.2
5	既存自社施設の立地状況	12.6
6	労働力の確保	11.8
7	消費地までの距離	9.5
8	従業員の住環境	7.5
9	立地地域周辺の治安状況	7.2
10	競合他社の立地状況	6.9

## 本社

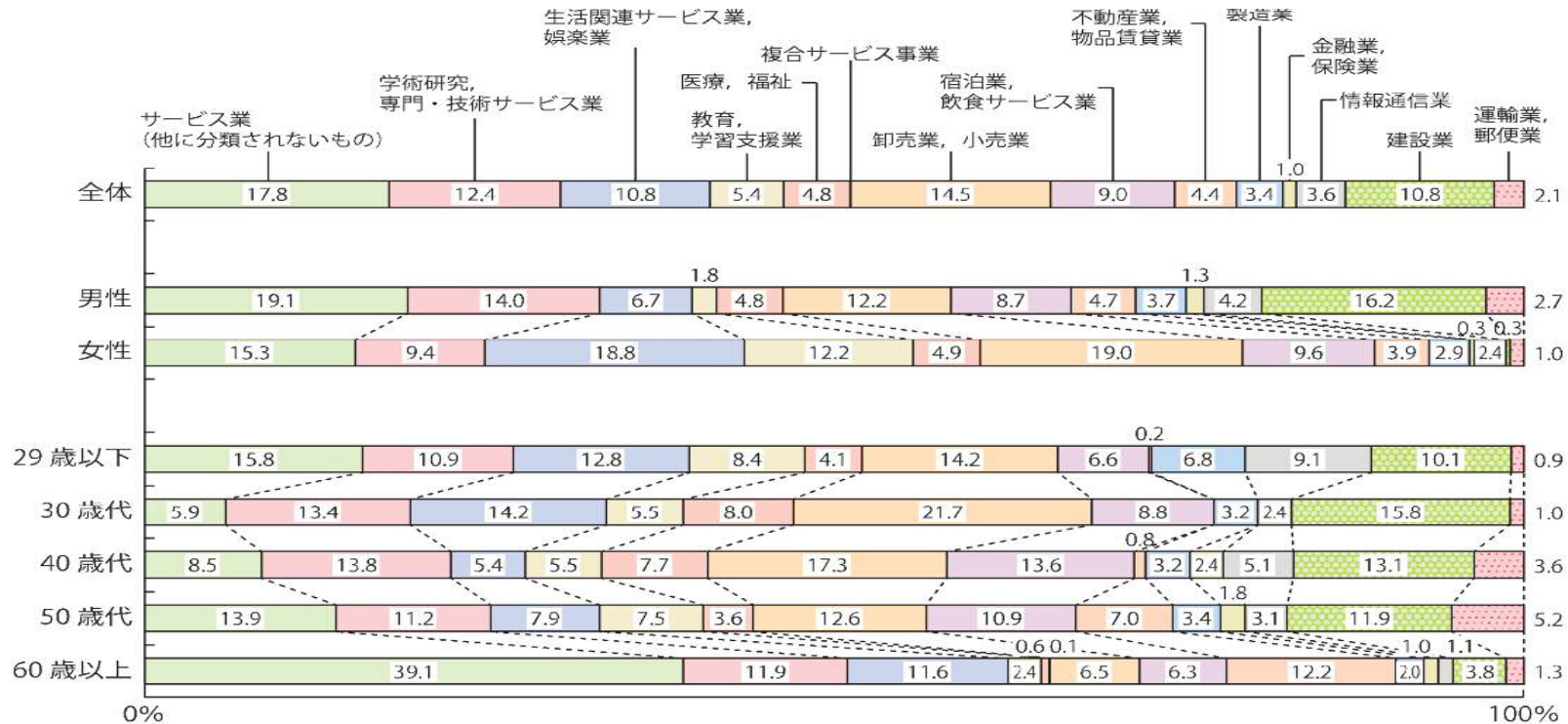
順位	条件	構成比(%)
1	交通利便性	41.1
2	用地の価格	30.2
3	既存自社施設の立地状況	29.0
4	用地確保の方法	19.2
5	従業員の住環境	12.9
6	得意先の立地状況	10.6
7	労働力の確保	8.2
8	自治体の優遇制度	4.6
9	消費地までの距離	4.2
10	仕入先の立地状況	3.4

資料: 帝国データバンク調べ(H26)・母数2946社

# 性別及び年齢別の起業分野(全国)

○性別についてみると、女性は、男性と比べて「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」等の分野での起業が多い。  
 ○年齢別にみると、60歳以上の起業は、「サービス業」の割合が高くなっている。一方で、若者(29歳以下)は「生活関連サービス業、娯楽業」や「情報通信業」の割合が高い。

### 性別及び年齢別の起業分野



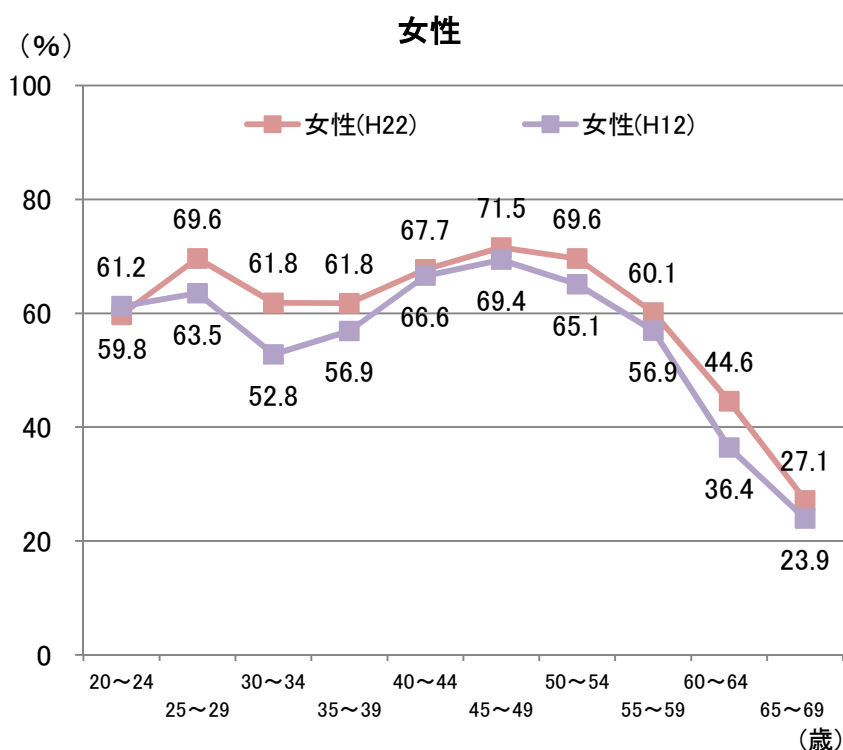
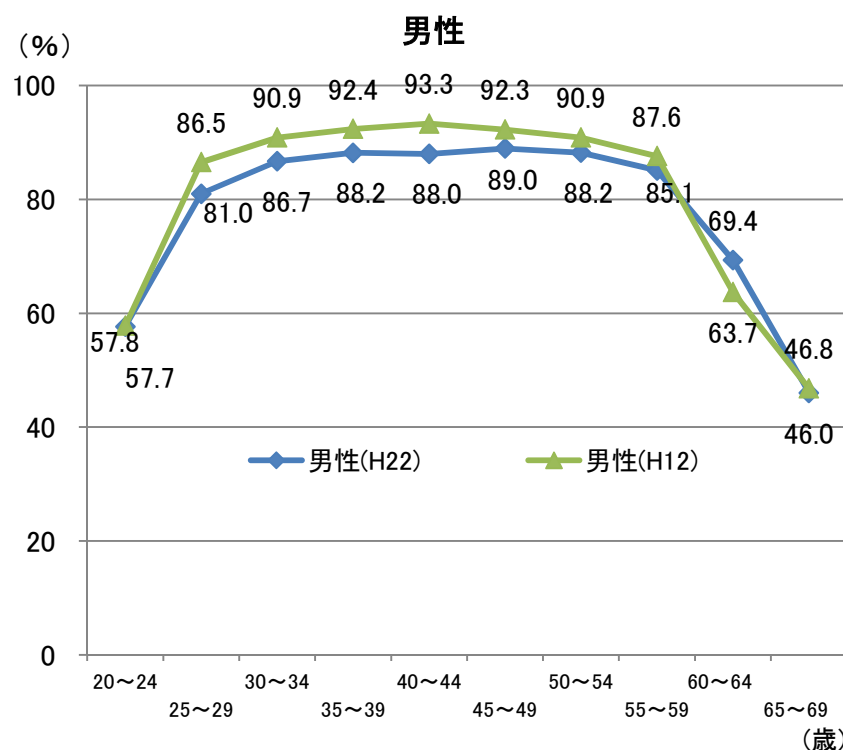
資料：総務省「平成24年就業構造基本調査」再編加工

(注) ここでいう「起業分野」とは、過去1年間に職を変えた又は新たに職についた者のうち、現在は自営業主(内職者を除く)となっている者が就業している産業分野をいう。

# 岡山市の年齢階級別就業率

○男性は、平成12と平成22を比較すると、25～59歳の幅広い年齢層で就業率が低下しているが、60～64歳では就業率が上昇している。

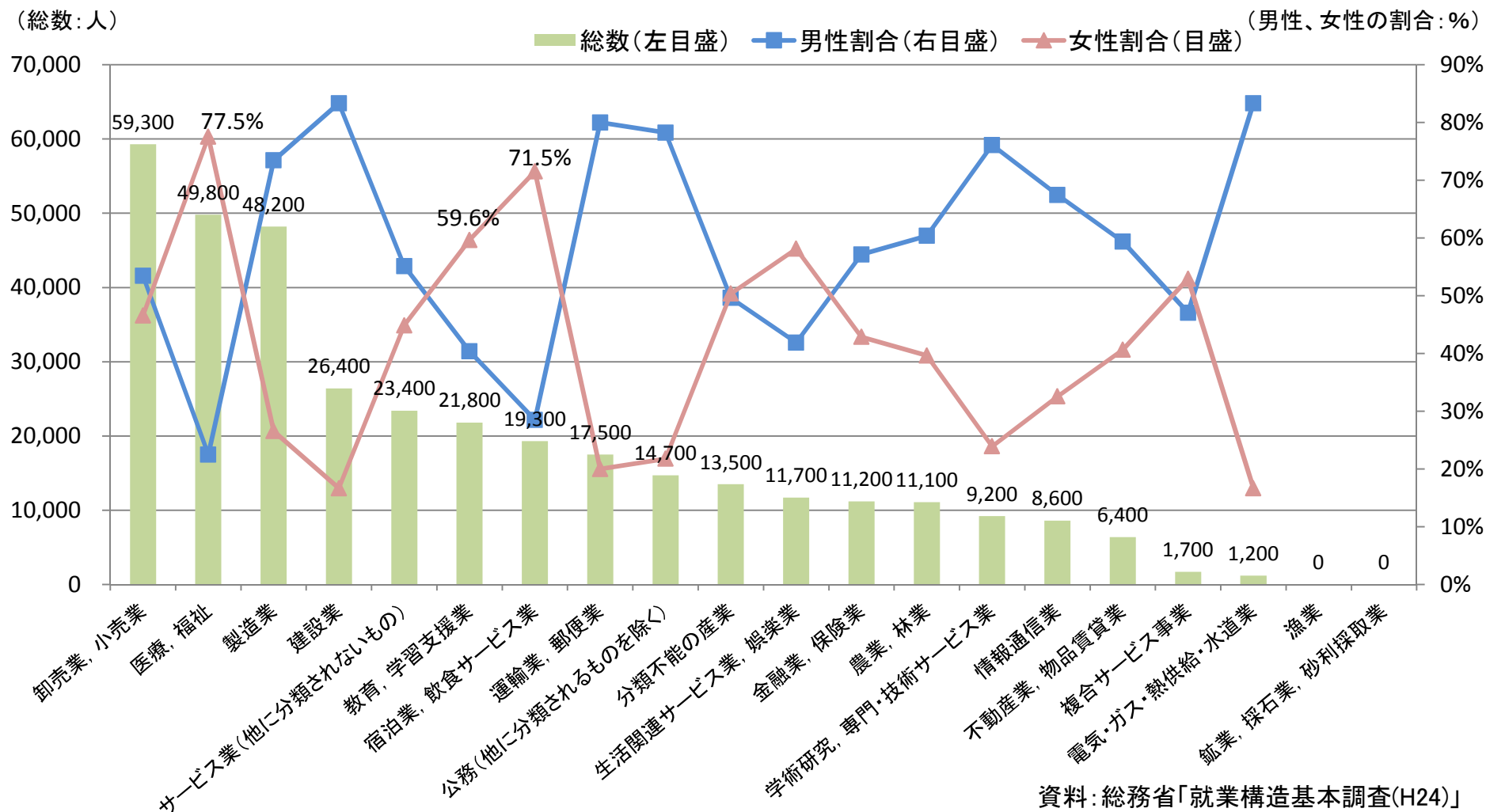
○女性は、20～24歳では就業率が低下したものの、25～69歳の幅広い年齢層で就業率が上昇している。その結果、子育てに手のかかる30～39歳の時期に就業率の低下するM字カーブの凹みが緩やかになっている。



資料:総務省「国勢調査(H22)」

# 岡山市の業種別の従業員数及び男性、女性の従業員数の割合

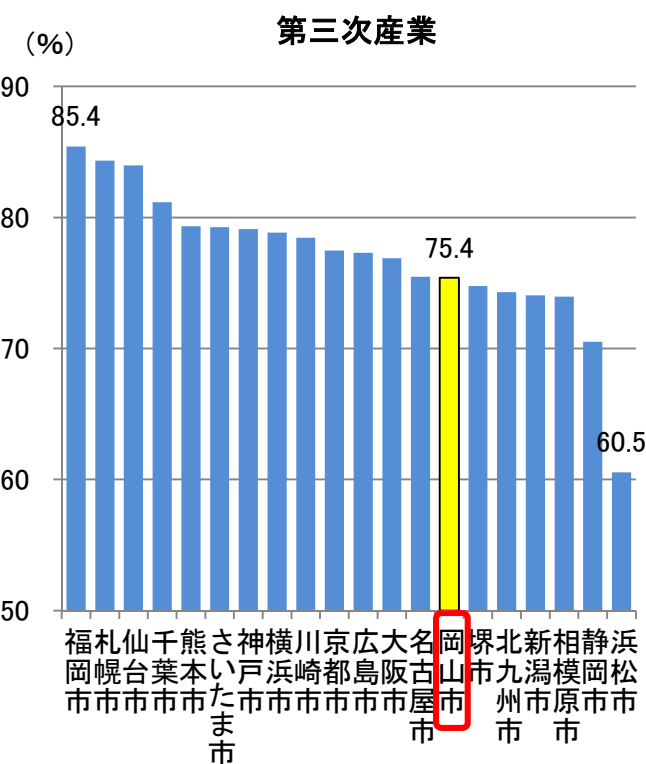
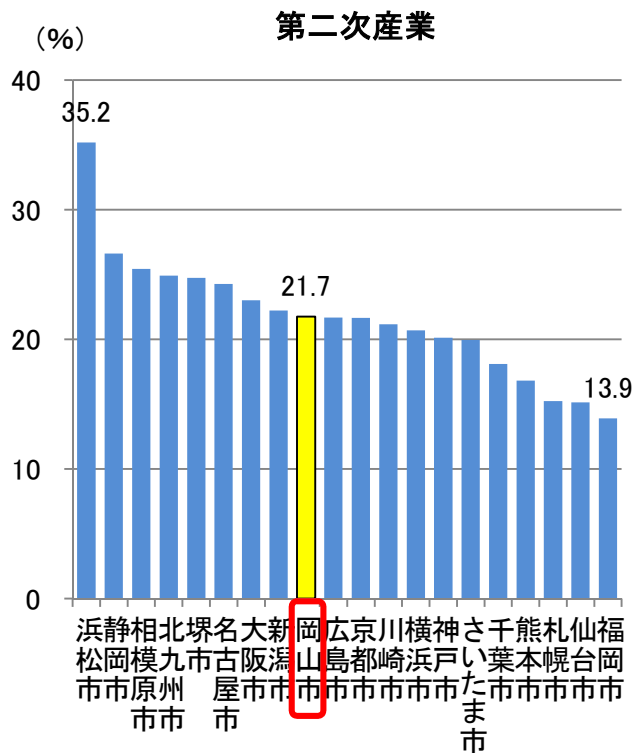
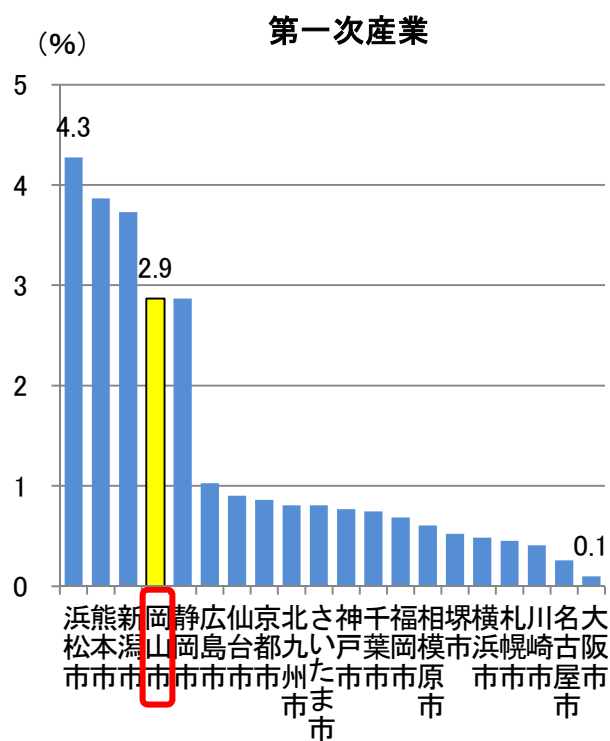
○業種別の従業員総数では、卸売業・小売業が最も多く、医療・福祉関連、製造業がこれに続く。  
 ○女性従業員数の割合は、医療・福祉関連が最も多く、宿泊業・飲食サービス業、教育・学習支援業がこれに続く。



資料:総務省「就業構造基本調査(H24)」

# 指定都市別 従業者数の第一～三次産業の構成比

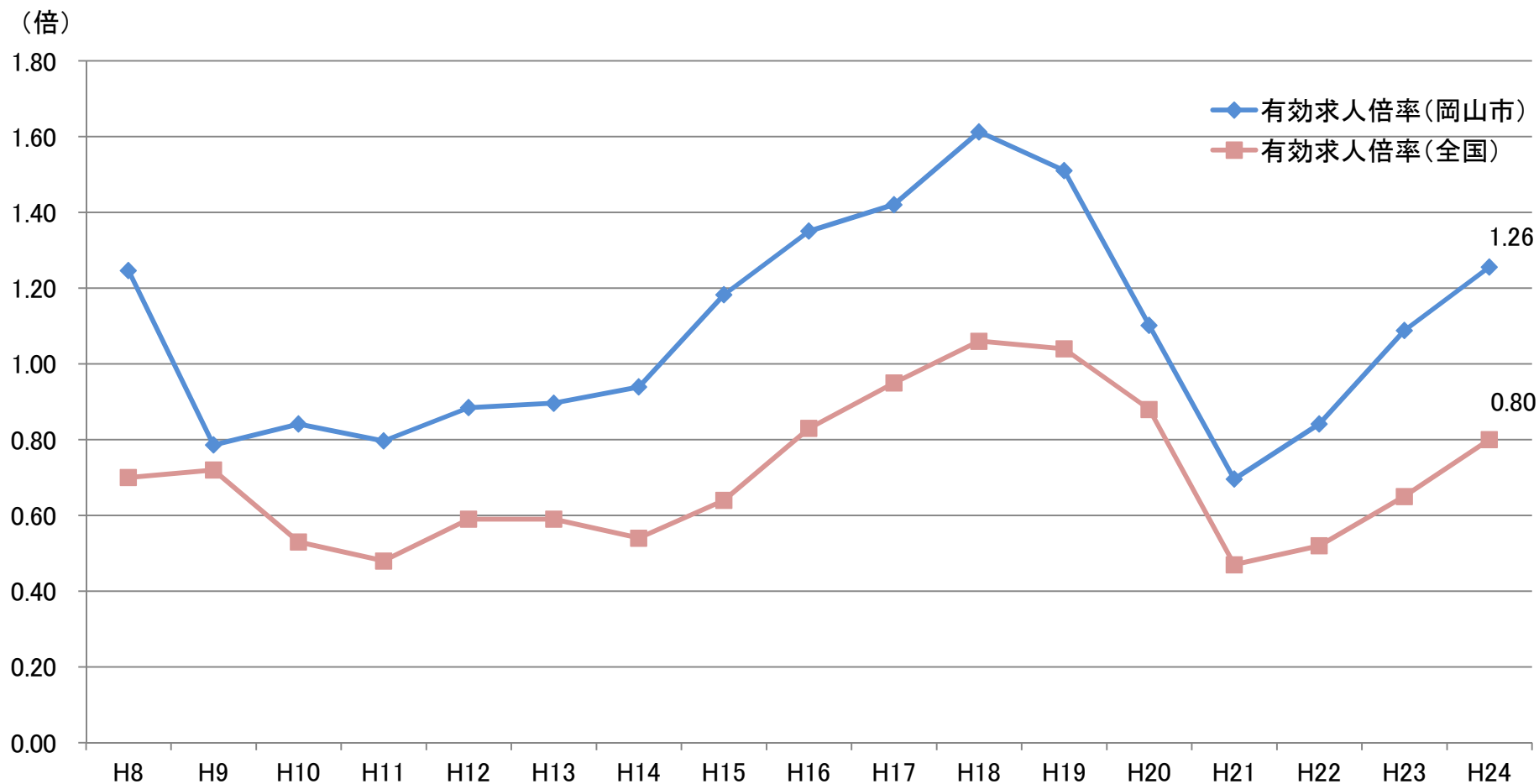
- 岡山市における第一次産業従業者数の構成比は2.9%であり、熊本市、新潟市に次ぎ、静岡市と並んで指定都市中4位である。
- 岡山市における第二次産業従業者数の構成比は21.7%であり、指定都市中9位である。
- 岡山市における第三次産業従業者数の構成比は75.4%であり、指定都市中14位である。



資料：総務省「国勢調査(H22)」

# 岡山市及び全国の有効求人倍率の推移

○岡山市における有効求人倍率は、全国のそれを上回って推移している。  
○平成20年付近では、リーマンショックにより大きく落ち込んだが、平成21年以降は継続して上昇している。



資料：岡山市「岡山市の統計」  
厚生労働省「一般職業紹介状況」

# 岡山市における若年層の正規雇用の主な受け皿



○市内の若年層の正規雇用の受け皿となっている産業のうち、全国と比較して正規従業員の割合が高く、全国よりも特化しているのは、20～24歳では卸売業・小売業、医療・福祉であり、25～29歳では、運輸業・郵便業、教育・学習支援業がそれらに加わる。

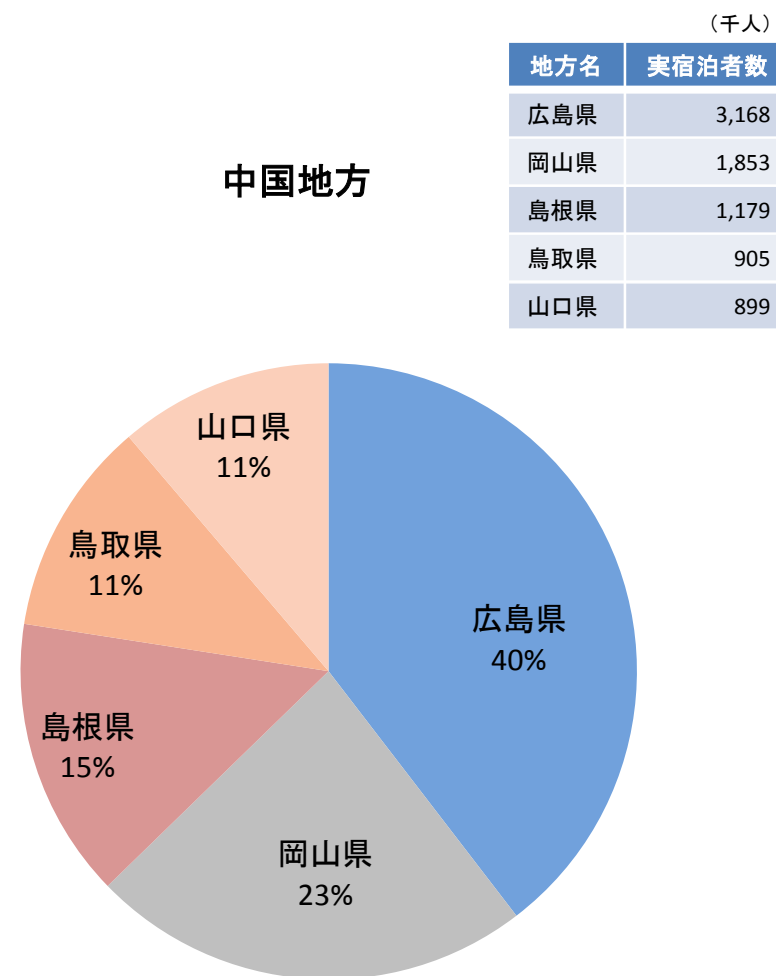
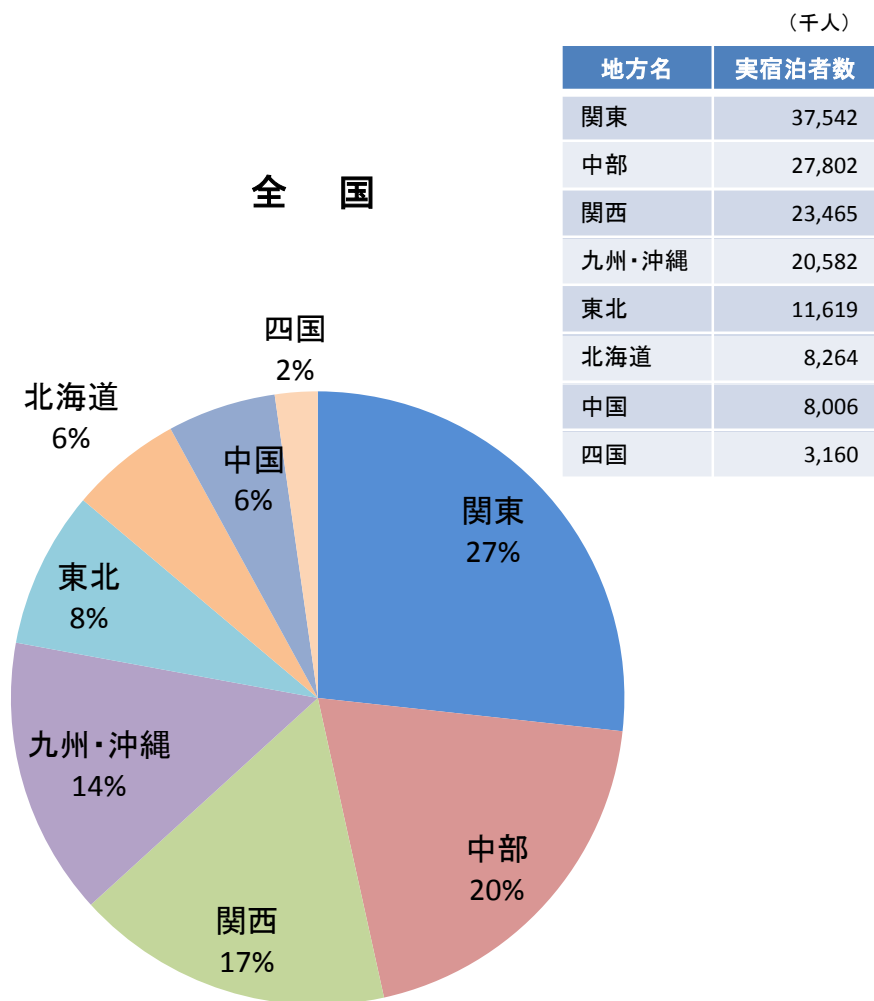
	20～24歳				25～29歳			
	就業者数	全就業者数に占める正規従業員の割合(岡山市)	全就業者数に占める正規従業員の割合(全国)	特化係数	就業者数	全就業者数に占める正規従業員の割合(岡山市)	全就業者数に占める正規従業員の割合(全国)	特化係数
	24,450	52.0	55.6		0	66.3	66.6	
農業, 林業	88	0.1	0.3	0.4	150	0.2	0.3	0.5
漁業	6	0.0	0.1	0.2	1		0.1	
鉱業, 採石業, 砂利採取業	1	0.0	0.0	0.3	2	0.0	0.0	0.4
建設業	998	3.1	3.2	1.0	1,847	4.3	4.2	1.0
製造業	2,942	9.7	12.0	0.8	3,998	9.9	12.7	0.8
電気・ガス・熱供給・水道業	36	0.1	0.3	0.4	103	0.3	0.3	0.9
情報通信業	562	1.8	2.2	0.8	1,077	2.6	3.7	0.7
運輸業, 郵便業	699	2.0	2.1	0.9	1,413	3.2	3.0	1.1
卸売業, 小売業	5,053	9.1	8.4	1.1	5,939	12.3	10.7	1.1
金融業, 保険業	579	2.3	2.4	1.0	927	2.6	2.7	1.0
不動産業, 物品賃貸業	250	0.5	0.6	0.8	370	0.8	1.0	0.8
学術研究, 専門・技術サービス業	298	0.9	1.3	0.7	762	1.8	2.5	0.7
宿泊業, 飲食サービス業	3,152	1.6	2.0	0.8	1,525	1.8	1.9	1.0
生活関連サービス業, 娯楽業	1,295	2.6	2.7	1.0	1,453	2.6	2.5	1.0
教育, 学習支援業	1,326	1.7	2.0	0.8	1,670	3.3	2.9	1.2
医療, 福祉	3,534	11.8	9.9	1.2	5,304	13.2	10.5	1.3
複合サービス事業	97	0.3	0.6	0.6	142	0.4	0.6	0.6
サービス業	771	1.7	1.9	0.9	1,358	2.8	2.7	1.0
公務	468	1.6	2.7	0.6	1,035	2.7	3.3	0.8
分類不能の産業	2,295	1.2	0.9	1.4	3,284	1.5	1.0	1.5

資料:総務省「国勢調査(H22)」



# 全国及び中国地方の実宿泊者数の割合

- 全国の中で、中国地方の割合は6%で、8地方の中で7番目である。
- 中国地方の中で、岡山県の割合は23%で、広島県に次いで2番目である。



資料: 観光庁「宿泊旅行統計調査(H26)」

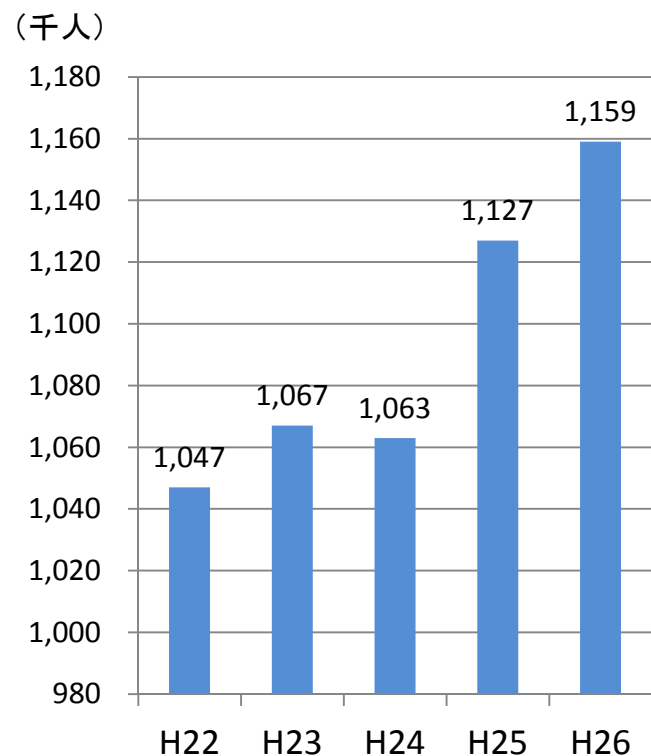


# 岡山市の実宿泊者数の推移及び指定都市別実宿泊者数

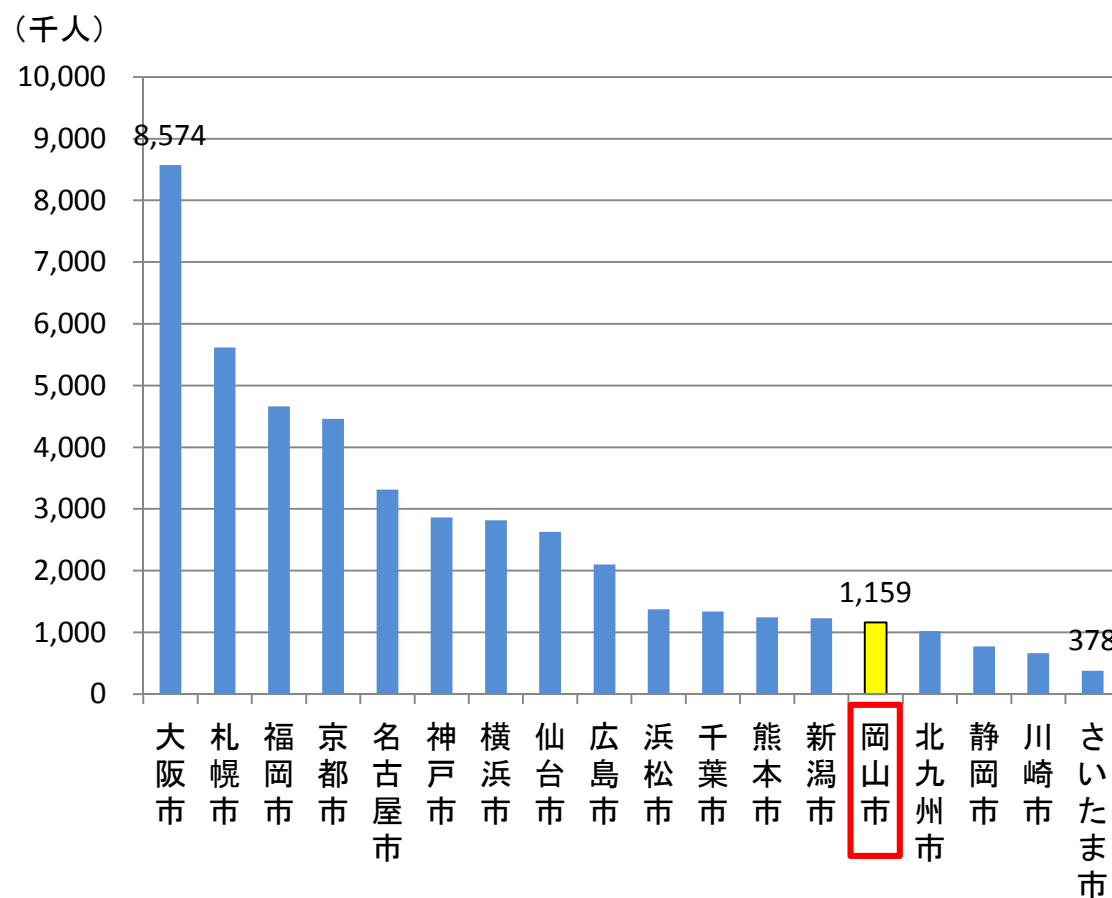


○岡山市の実宿泊者数は、増加傾向で推移しているが、指定都市の中では14位である。

### 実宿泊者数の推移



### 指定都市別実宿泊者数

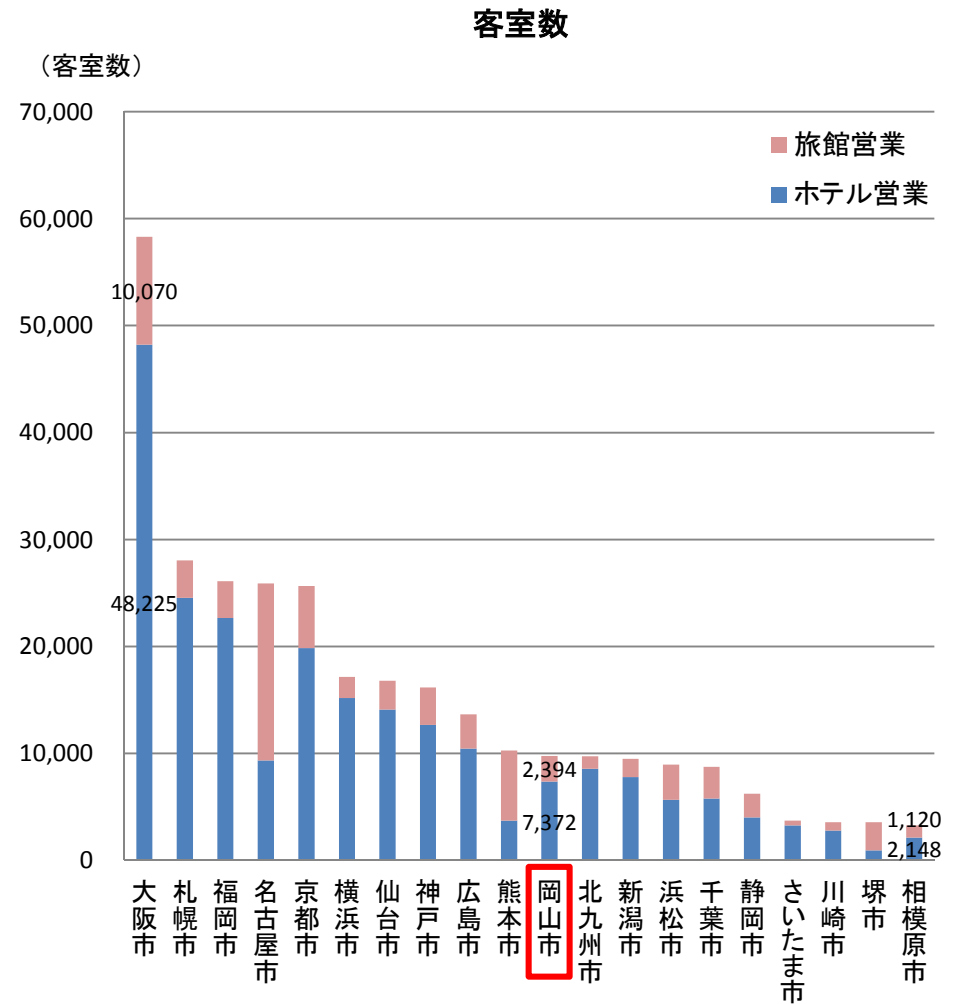
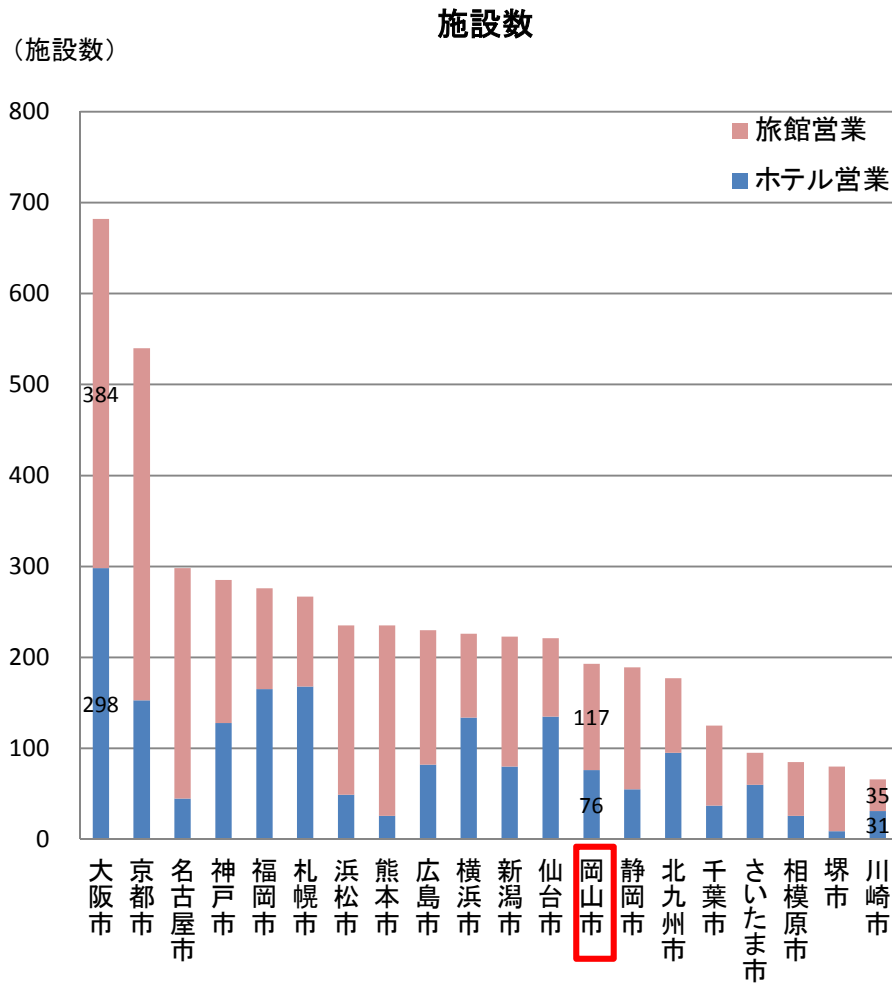


資料: 観光庁「宿泊旅行統計調査(H26)」

※相模原市はデータなし。堺市は一部未報告があるため表示しない。

# 指定都市別 ホテル・旅館営業の施設・客室数

○岡山市におけるホテル・旅館営業の施設数は193であり、指定都市の中で13位である。  
 ○岡山市におけるホテル・旅館営業の客室数は9,766であり、指定都市の中で11位である。

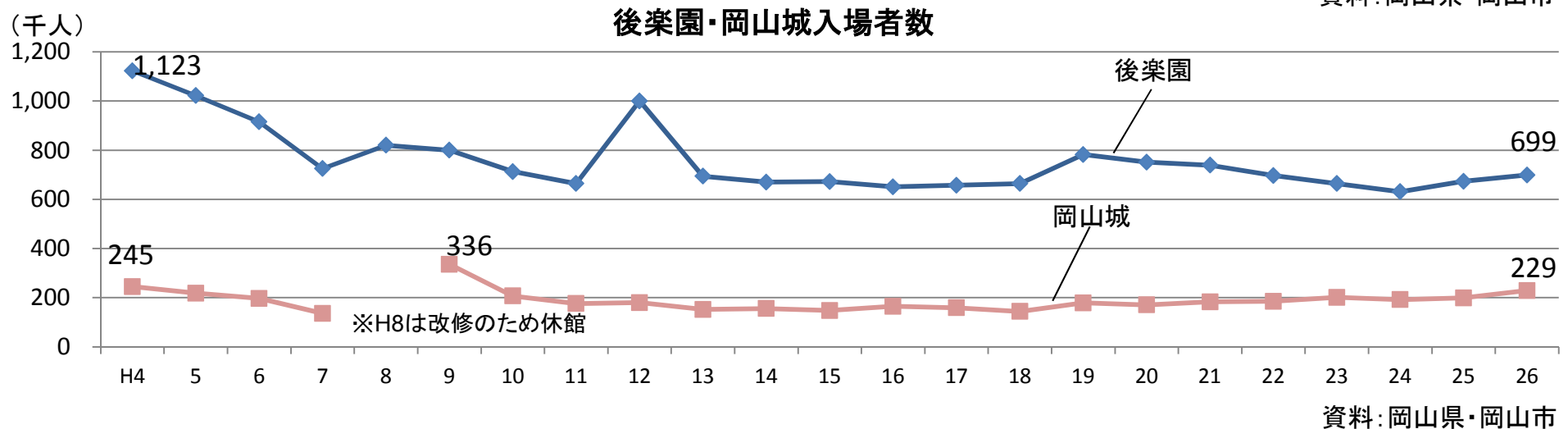
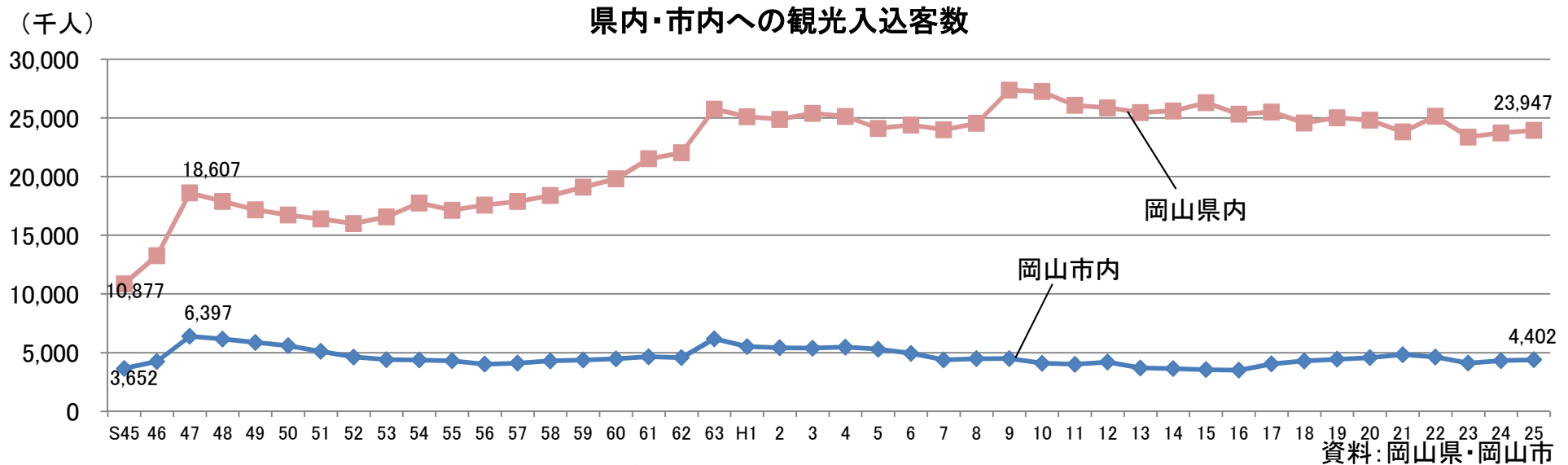


資料：厚生労働省「衛生行政報告例(H25)」

# 県内・市内への観光入込客数及び後樂園・岡山城入場者数

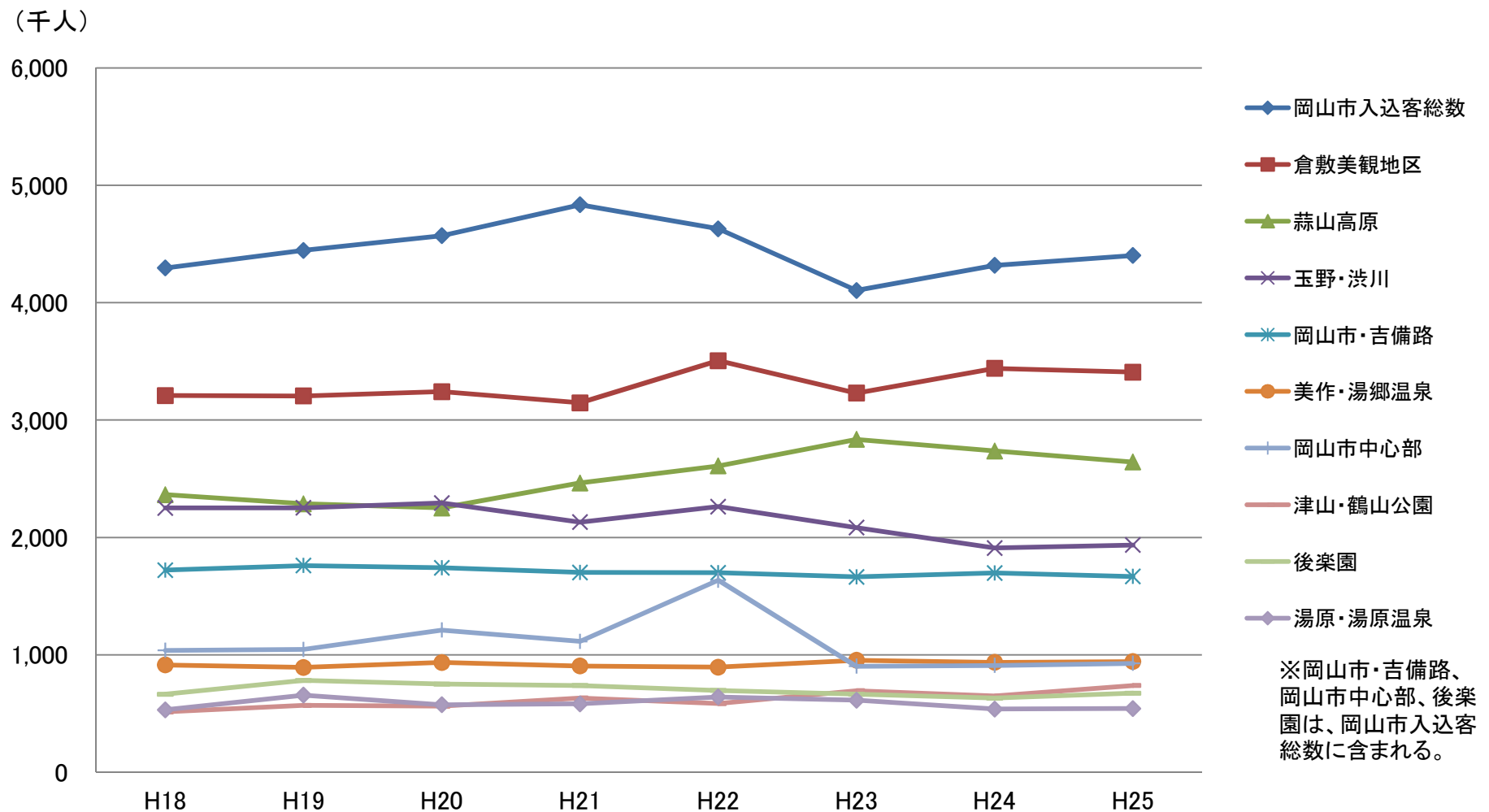


○直近の岡山市への観光入込客総数は、ピーク時(昭和47年:山陽新幹線岡山まで開通)の69%に減少している。  
 ○岡山城への入場者数は、平成9年の築城400年を除き、ほぼ横ばいで推移している。



# 岡山県内の地域別観光地入込客数

○倉敷美観地区と後樂園・岡山市中心部の入込客数には大きな差があり、倉敷美観地区への入込客が後樂園・岡山市中心部には、あまり立ち寄っていない状況が見受けられる。

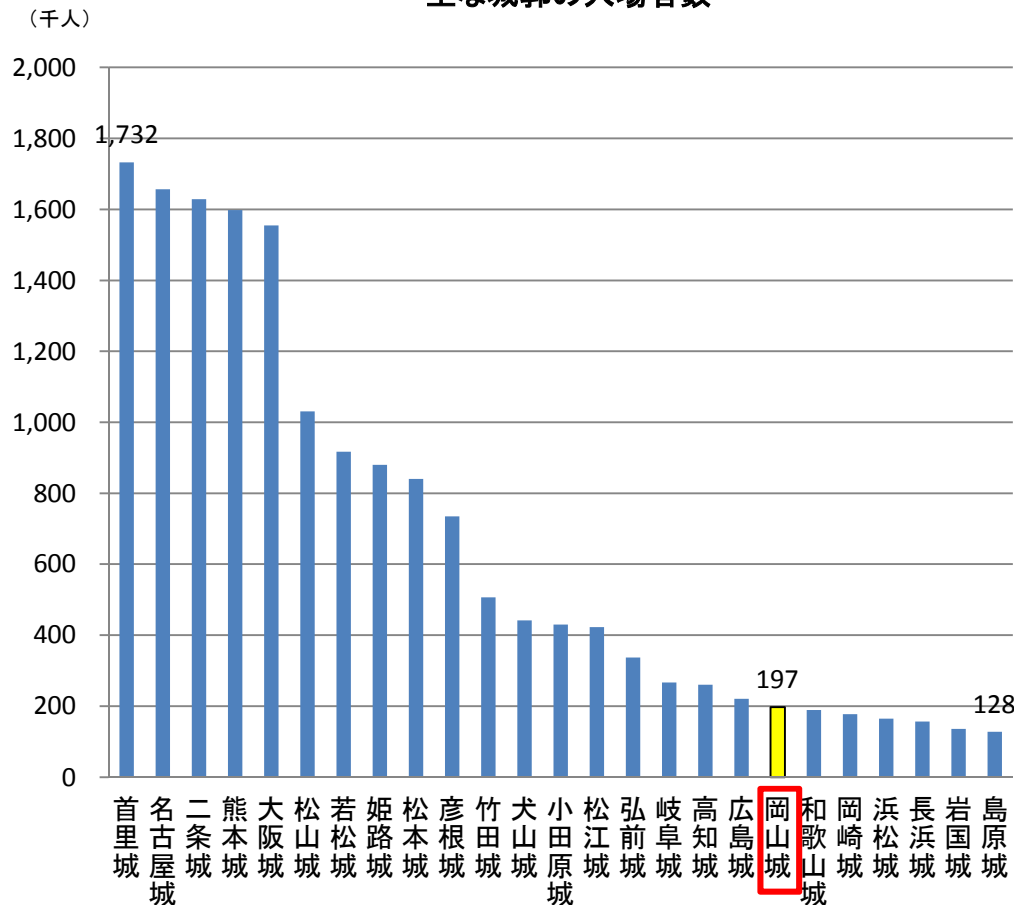


資料: 岡山市「岡山市観光統計」  
岡山県「岡山県観光客動態調査」

# 主な城郭、日本庭園の入場者数

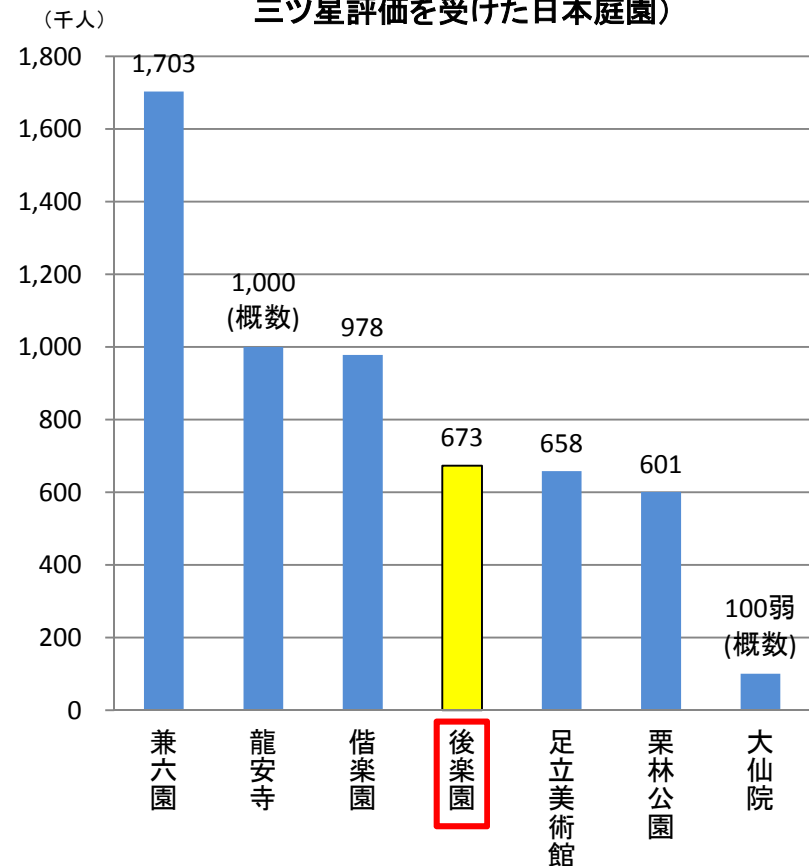
○首里城(那覇市)、名古屋城(名古屋市)、二条城(京都市)、熊本城(熊本市)、大阪城(大阪市)の上位5城郭が他より抜きんでている。岡山城は48城郭中19番目の入場者数である。  
 ○ミシュラングリーンガイド第3版(2013年2月発売)で三ツ星評価を受けている日本庭園では、兼六園の入場者数が抜きんでおり、後楽園は4番目の入場者数である。

主な城郭の入場者数



資料:平成25年度全国城郭管理者協議会加入城郭総入場者数(加入城郭数:48)  
 ※25位まで表示

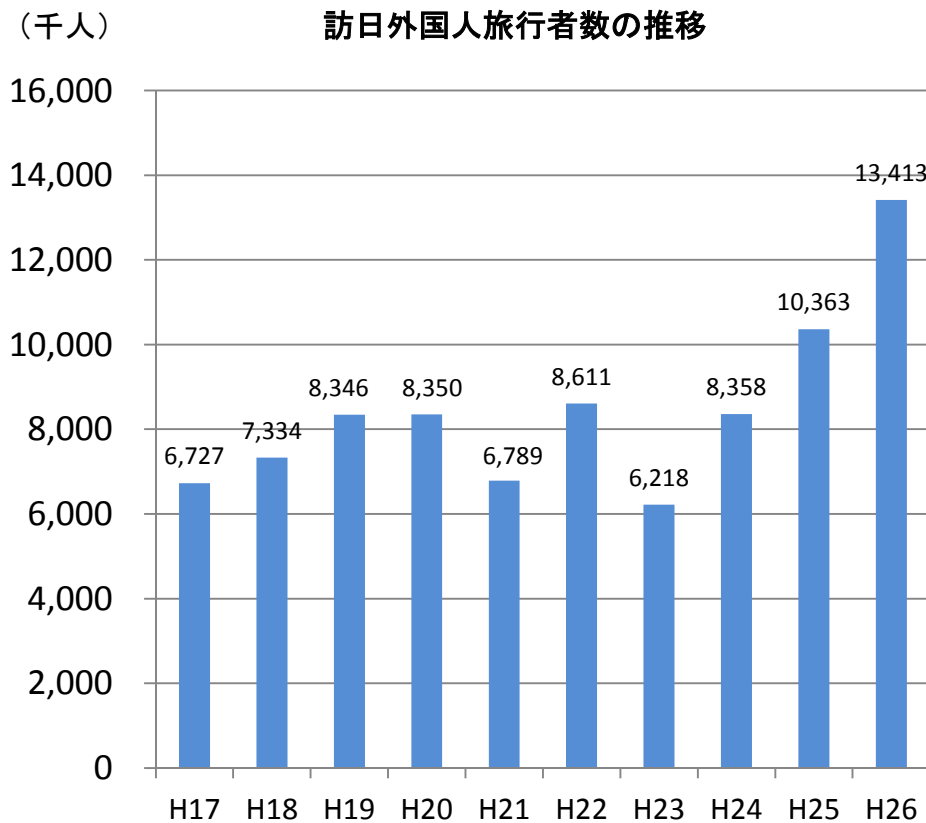
主な日本庭園の入場者数  
 (ミシュラングリーンガイド第3版にて三ツ星評価を受けた日本庭園)



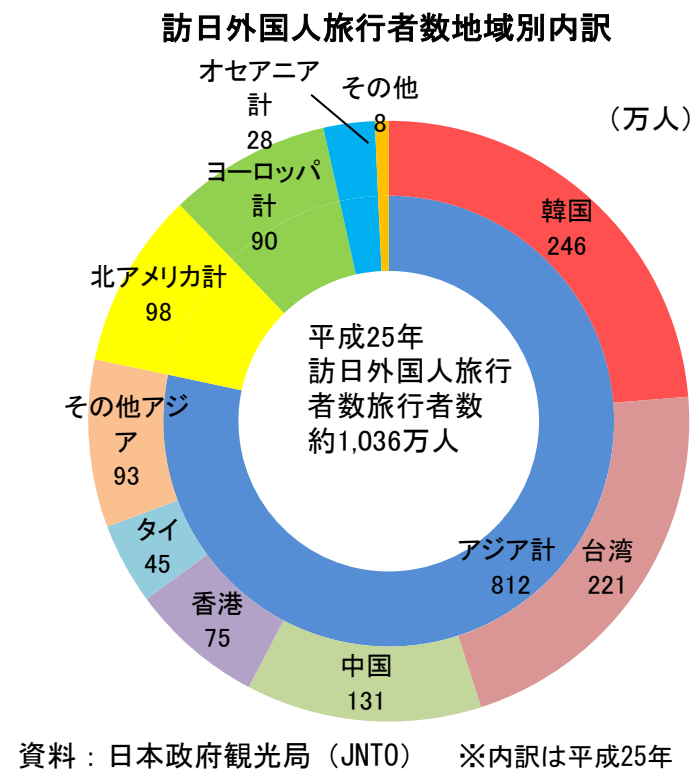
資料:兼六園-市観光調査、後楽園・足立美術館・栗林公園-県観光調査その他は各施設公表資料  
 ※数字は平成25年比較

# 訪日外国人旅行者数の推移と地域別内訳(全国)

- 訪日外国人旅行者数は、長期的に増加傾向にあったが、26年に一段と増加した。
- 訪日外国人旅行者の地域別内訳は、韓国、台湾、中国などアジア系が大半を占める。



資料: 日本政府観光局 (JNTO)

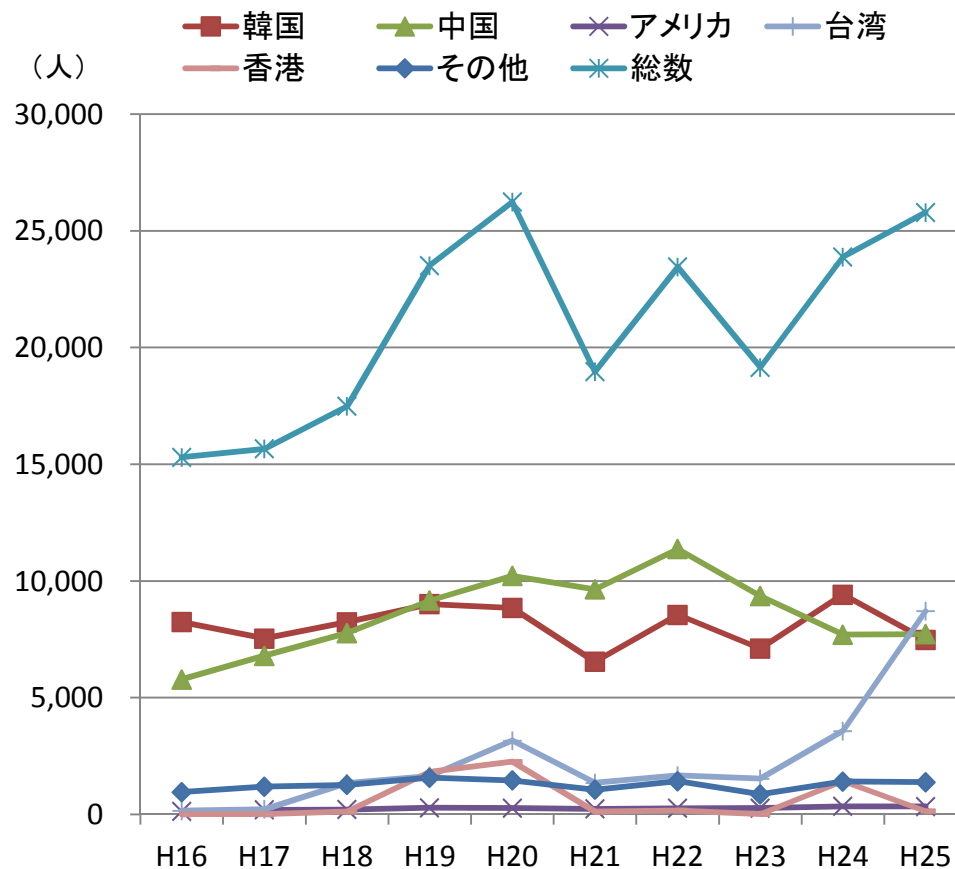


# 岡山空港外国人入国者数、岡山市の外国人実宿泊者数



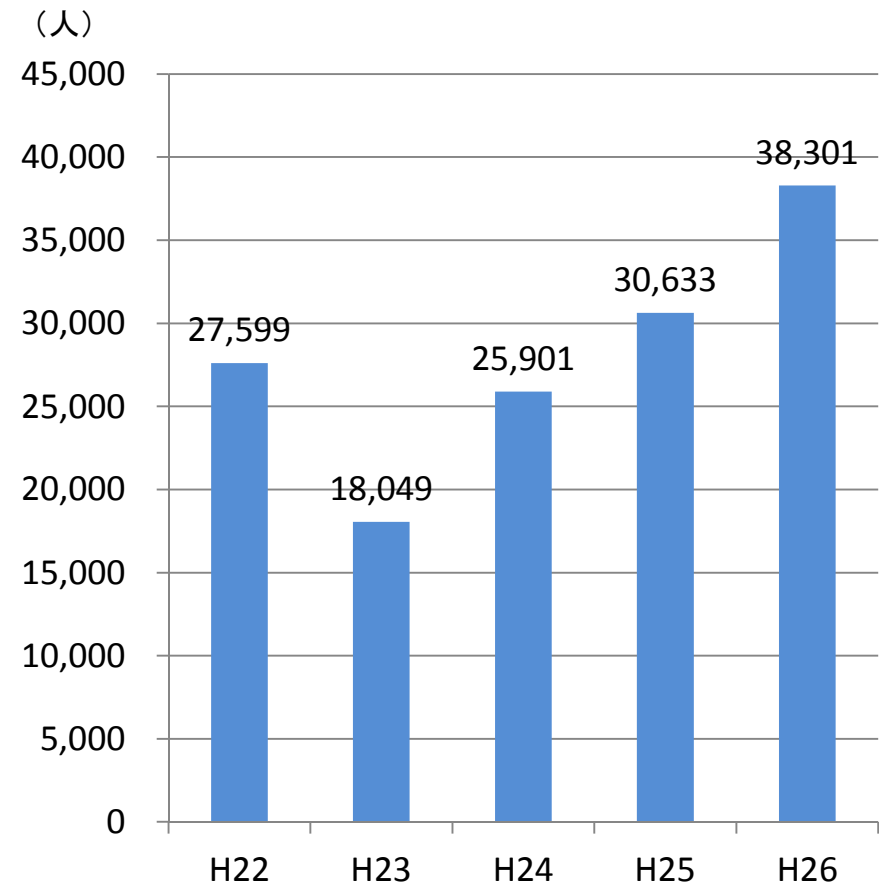
○岡山空港における外国人入国者のうち、中国は平成23年以降減少、韓国は概ね横ばいで推移、台湾は平成23年以降大幅に増加している。  
 ○岡山市における外国人実宿泊者数は、東日本大震災があった平成23年を除き、増加傾向にある。

岡山空港外国人入国者数の推移



資料：広島入国管理局岡山出張所

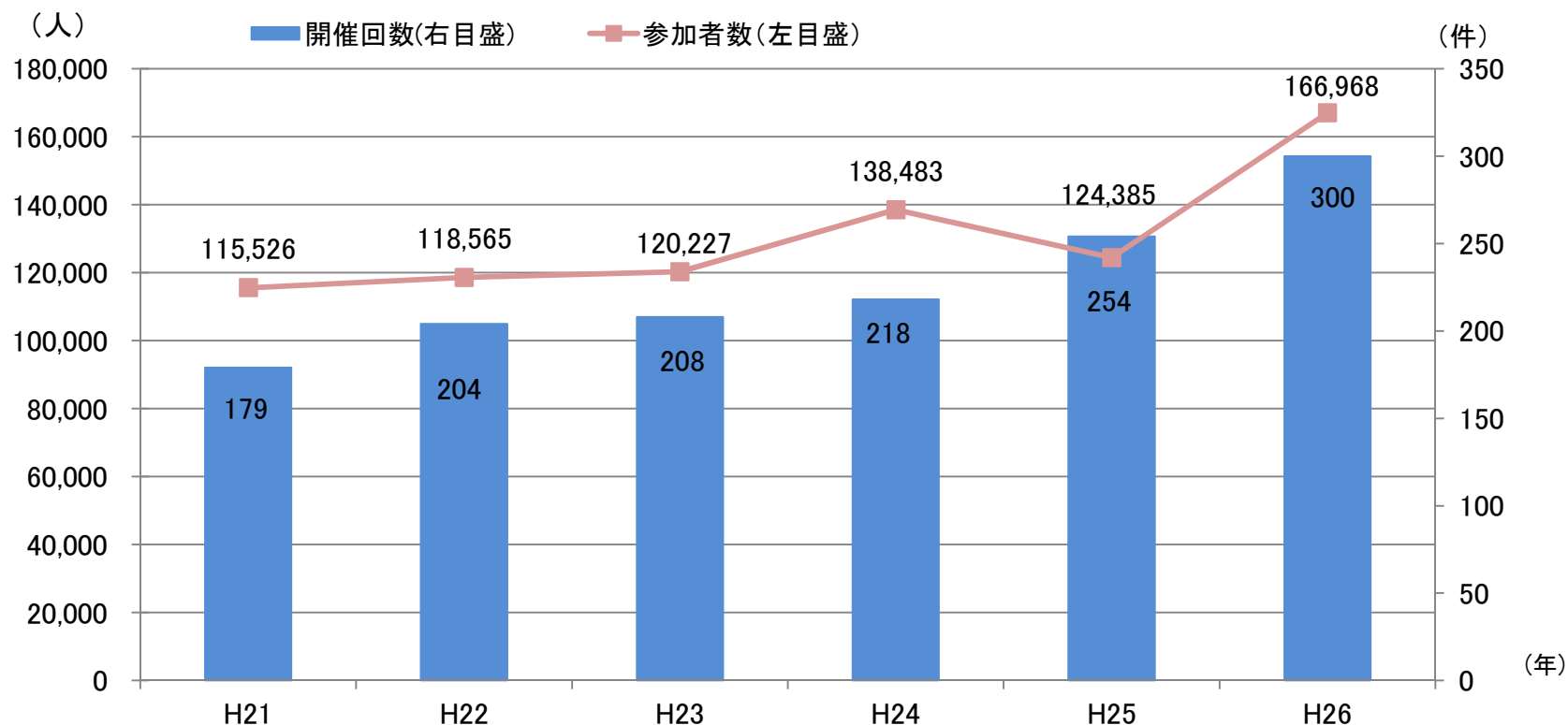
岡山市の外国人宿泊者数の推移



資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」

# 岡山市のコンベンションの開催状況の推移

- 岡山市のコンベンション開催件数は、着実に増加している。
- 岡山市のコンベンション参加者数も、開催件数の増加に伴い、多少の変動はあるものの増加傾向にある。
- 平成26年度の本市のコンベンション開催件数、参加者数はともに過去最高となっている。



資料: (公社)おかやま観光コンベンション協会

(中国地区以上の規模で岡山市内で宿泊を伴い参加者が概ね100人以上の大会)

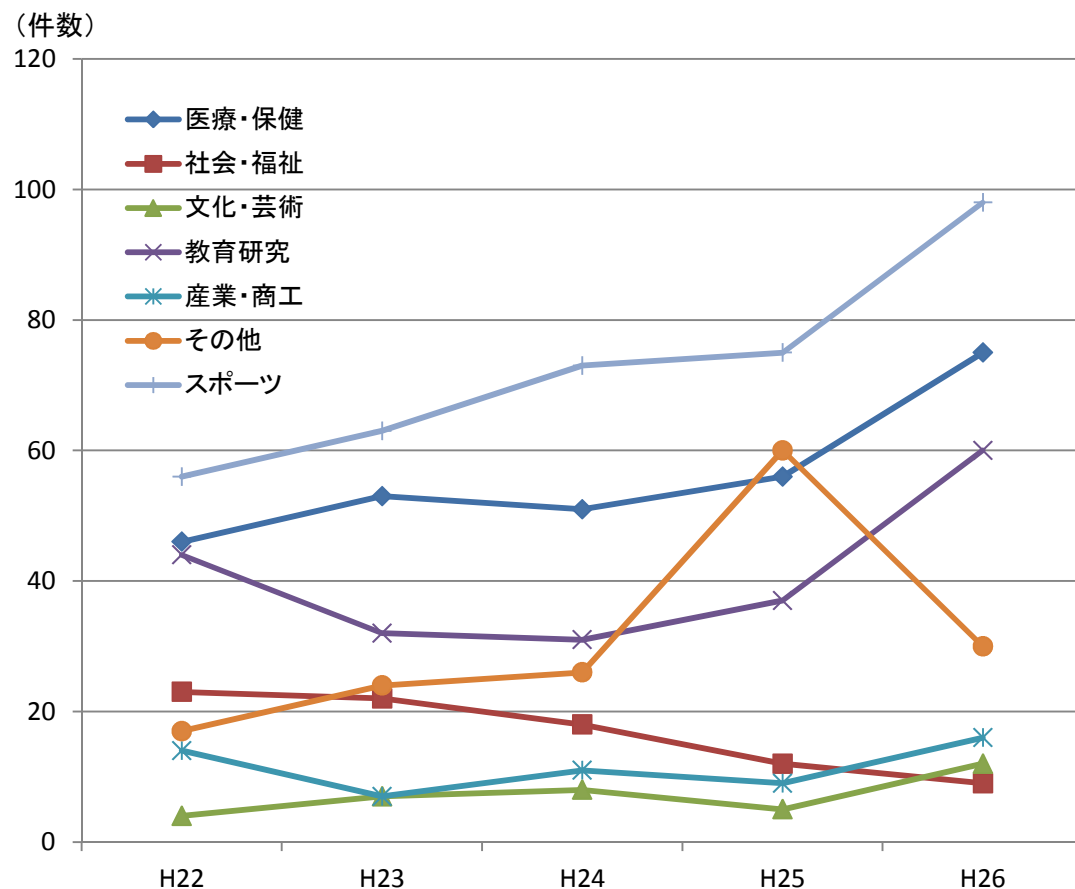
※宿泊者ベースで、コンベンション参加者の消費額(32,859円)は一般観光客(17,557円)の約1.8倍となっている。(平成21年度岡山市コンベンション経済波及効果調査及び岡山市観光動態調査)



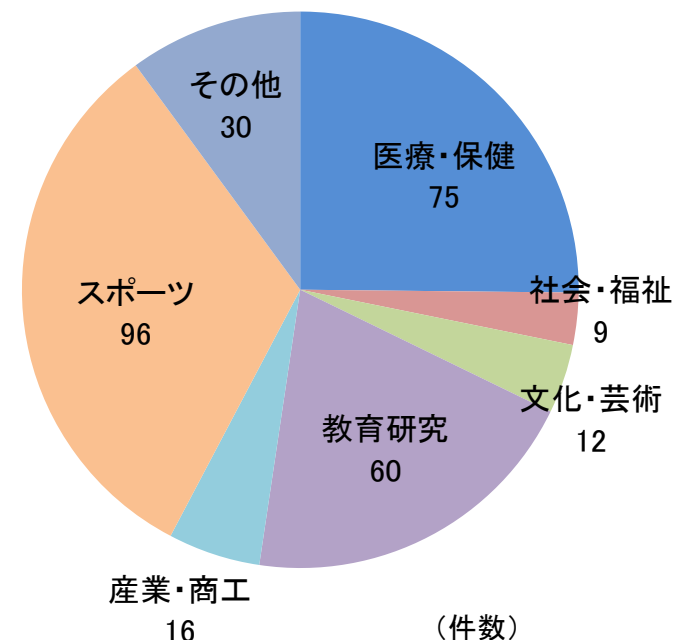
# 岡山市のコンベンションの分野別開催状況

- 「スポーツ」、「医療・保健」、「教育研究」は増加傾向にある。
- 「社会・福祉」は減少傾向にあり、「産業・商工」、「文化・芸術」は、ほぼ横ばいである。
- 平成26年度の分野別開催の内訳は、「医療・保健」と「教育研究」で全体の約半数を占めており、「スポーツ」は全体の約1/3を占める。

分野別開催状況の推移



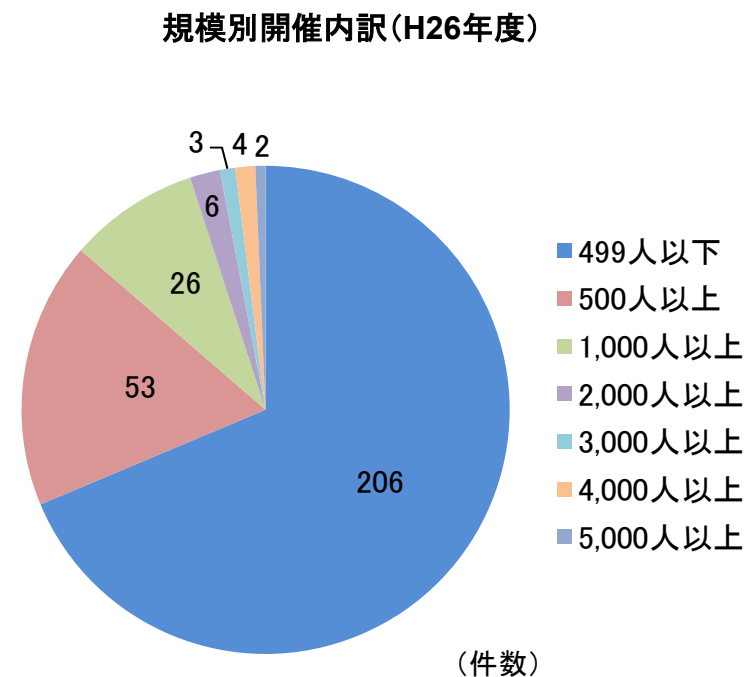
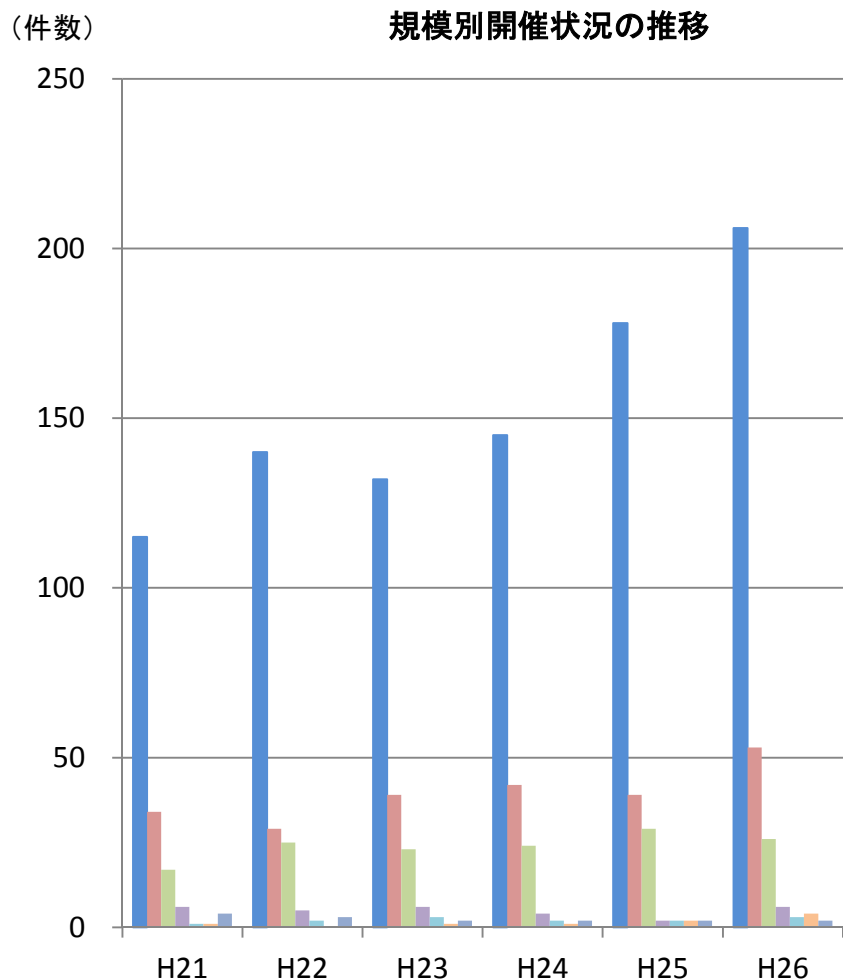
分野別開催内訳(H26年度)



資料：(公社)おかやま観光コンベンション協会

# 岡山市のコンベンションの規模別開催状況

- 499人以下のコンベンションは、増加している。
- 500人以上1,000人未満のコンベンション、緩やかな増加傾向にある。
- 1,000人以上のコンベンションは、横ばいで推移している。
- 平成26年度は1,000人未満が多数を占めている。

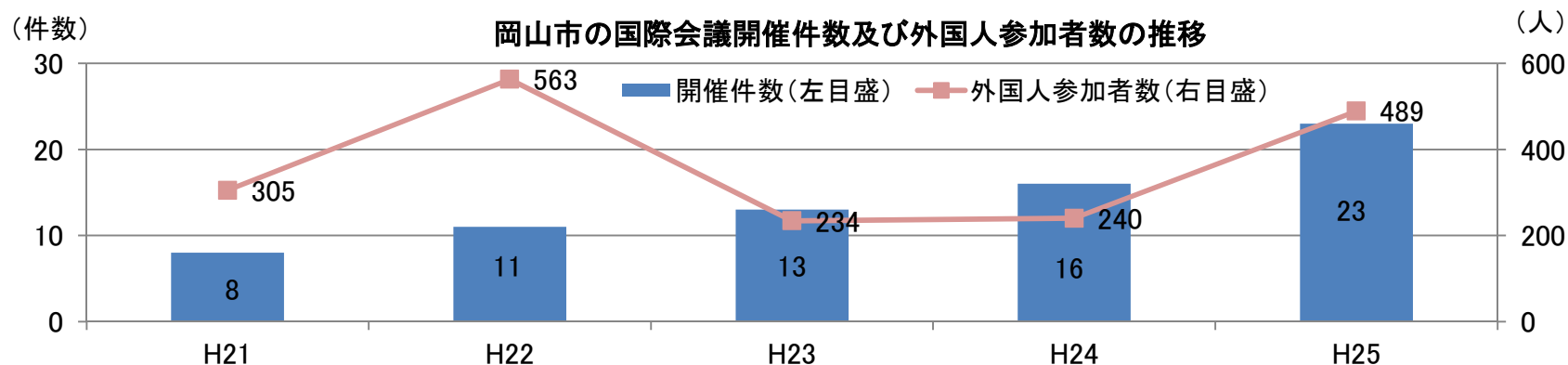
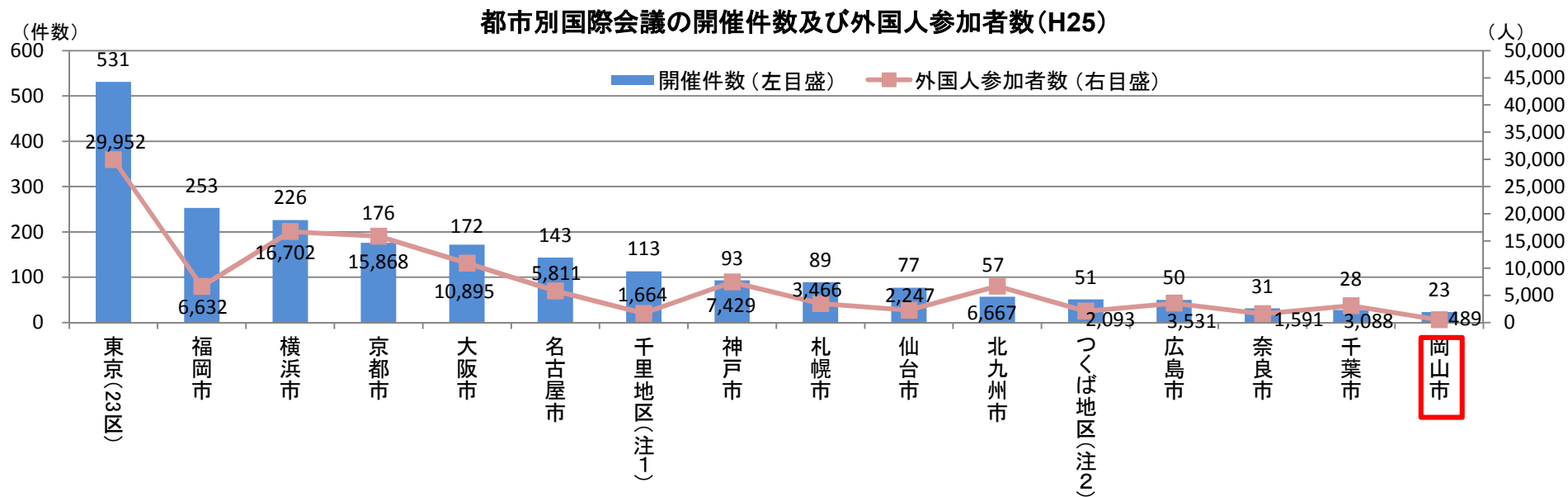


資料:おかやま観光コンベンション協会調査

# 国内都市別及び岡山市の国際会議開催件数・外国人参加者数



○岡山市の国際会議件数は着実に増加しており、平成25年の岡山市での国際会議開催件数は、全国で16位である。また指定都市の中では開催件数は12位で、外国人参加者数は14位である。  
 ○岡山市の国際会議への外国人参加者数は、平成21年以降、200人台～500人台と比較的大きく変動しているが、開催件数の増加に伴い、近年増加傾向にある。



資料：日本政府観光局調べ

注1「千里地区」は大阪府の豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市を含む。

注2「つくば地区」は茨城県のつくば市、土浦市を含む

# 岡山市の農業の特徴(全国有数の農業都市)



- 岡山市の総農家戸数は12,691戸で、全国の市町村の中で3位(平成22年)である。
- 岡山市の販売農家の経営耕地面積(田のみ)は9,317haで、全国の市町村の中で14位(平成22年)である。
- 岡山市の作付面積は水稲が中心で、麦類、果樹、野菜がこれに続く。

農家戸数(総農家)の市町村別順位(単位:戸)

順位	市町村名	戸数
1	静岡県浜松市	13,855
2	長野県長野市	13,496
<b>3</b>	<b>岡山県岡山市</b>	<b>12,691</b>
4	新潟県新潟市	12,690
5	岩手県奥州市	11,582
6	岩手県一関市	11,305
7	香川県高松市	9,941
8	宮城県登米市	9,177
9	兵庫県姫路市	9,158
10	秋田県横手市	8,920

経営耕地面積(販売農家・田のみ)の市町村別順位(単位:ha)

順位	市町村名	面積
1	新潟県新潟市	25,374
2	北海道岩見沢市	15,212
3	秋田県大仙市	13,768
4	岩手県奥州市	13,506
5	宮城県栗原市	13,214
6	山形県鶴岡市	12,857
7	宮城県大崎市	12,645
8	宮城県登米市	12,356
9	秋田県横手市	12,110
10	新潟県長岡市	11,784
⋮	⋮	⋮
<b>14</b>	<b>岡山県岡山市</b>	<b>9,317</b>

資料:2010年農林業センサス

岡山市主要農作物の作付面積(単位:ha)

作物名	作付面積	
水稲	8,530	
麦類	1,813	小麦 392
		二条大麦 1,410
		裸麦 11
果樹	446	ぶどう 315
		もも 131
野菜	289	だいこん 14
		にんじん 11
		れんこん 29
		やまのいも 4
		はくさい 15
		キャベツ 33
		ほうれんそう 20
		レタス 35
		ねぎ 51
		たまねぎ 25
		きゅうり 2
かぼちゃ 15		
なす 32		
トマト 1		
メロン 2		
大豆	164	

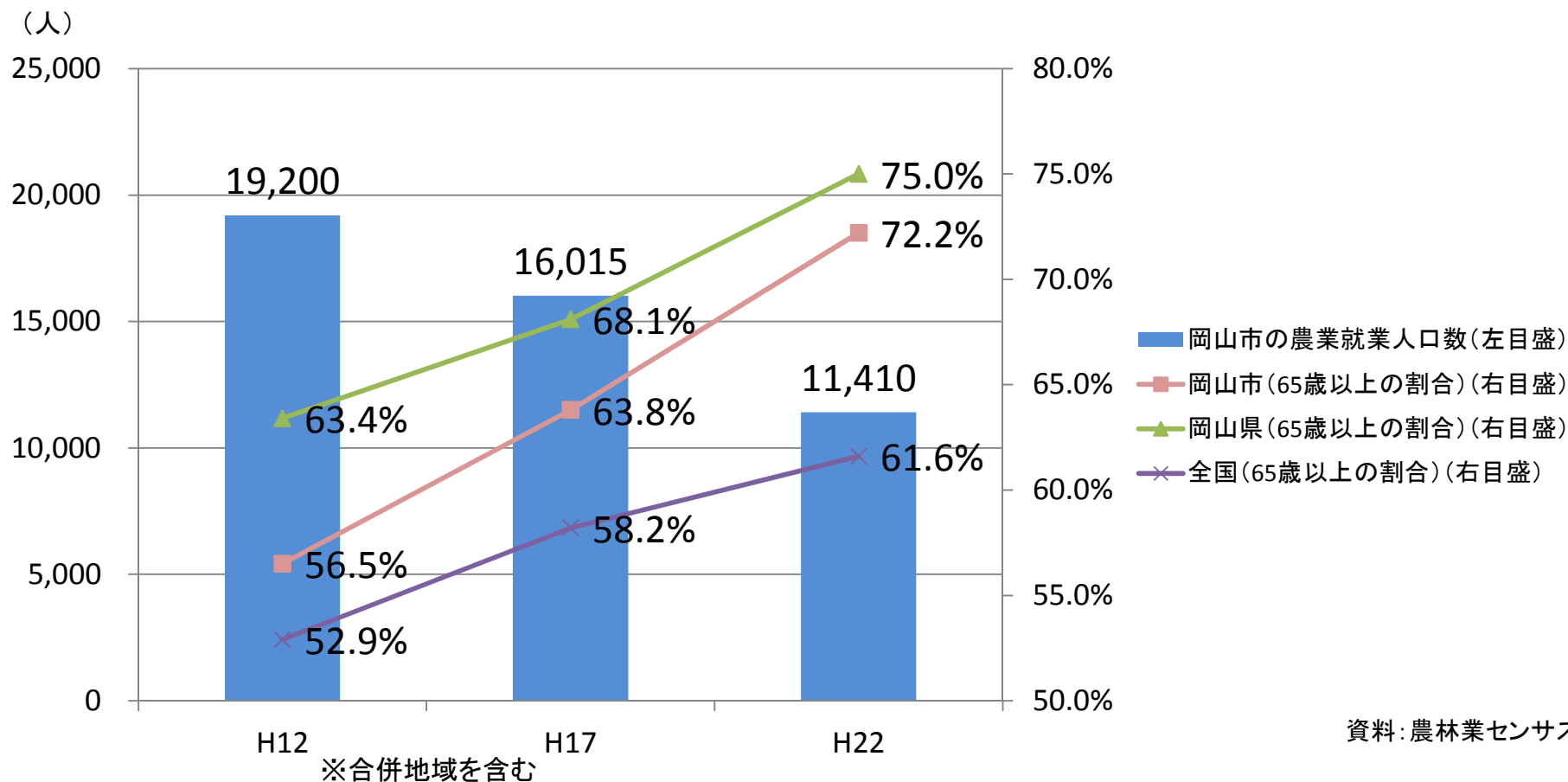
資料:岡山農林水産統計年報(野菜・果樹はJA岡山、JA岡山東調べ)

※水稲はH25、他はH24の値

- ※「農家」とは、経営耕地面積が10アール以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が15万円以上の世帯をいう。
- ※「販売農家」とは、経営耕地面積が30アール以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。
- ※「経営耕地」とは、調査期日現在で農林業経営体が経営している耕地をいい、自作地と借入耕地の合計をいう。

# 岡山市の農業就業人口の推移及び65歳以上の割合

○岡山市の農業就業人口は年々減少しており、平成22年度は5年前と比較して、約3割減少している。  
 ○岡山市の65歳以上の農業就業人口の割合は72.2%で、全国平均61.6%よりも高い。

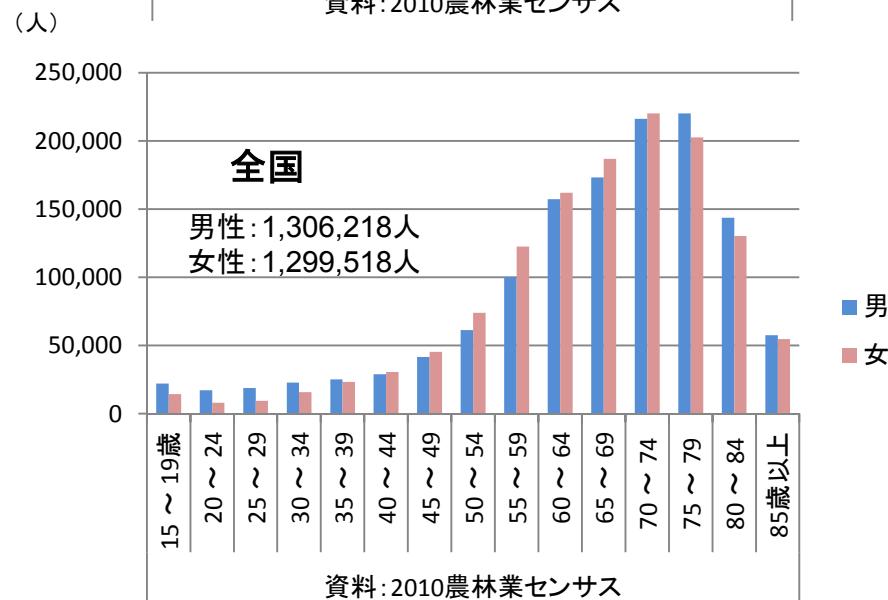
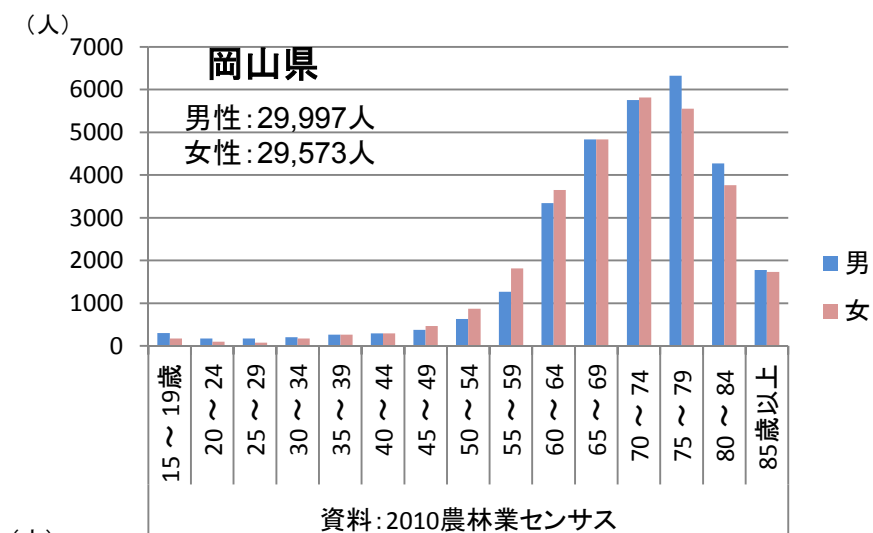
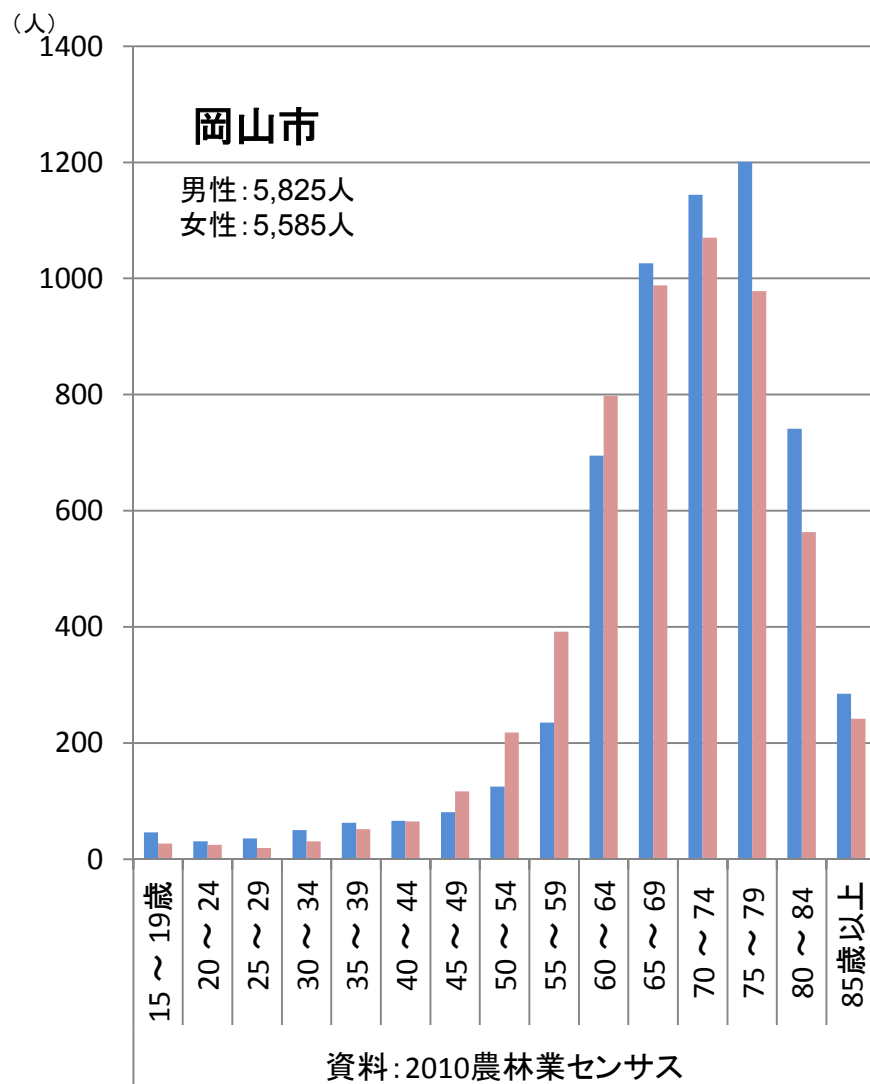


※「農業就業人口」とは、自営農業に従事した世帯員(農業従事者)のうち、調査期日前1年間に自営農業のみに従事した者又は農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち、自営農業が主の者をいう。

※「農業従事者」とは、15歳以上の世帯員のうち、調査期日前1年間に自営農業に従事した者をいう。

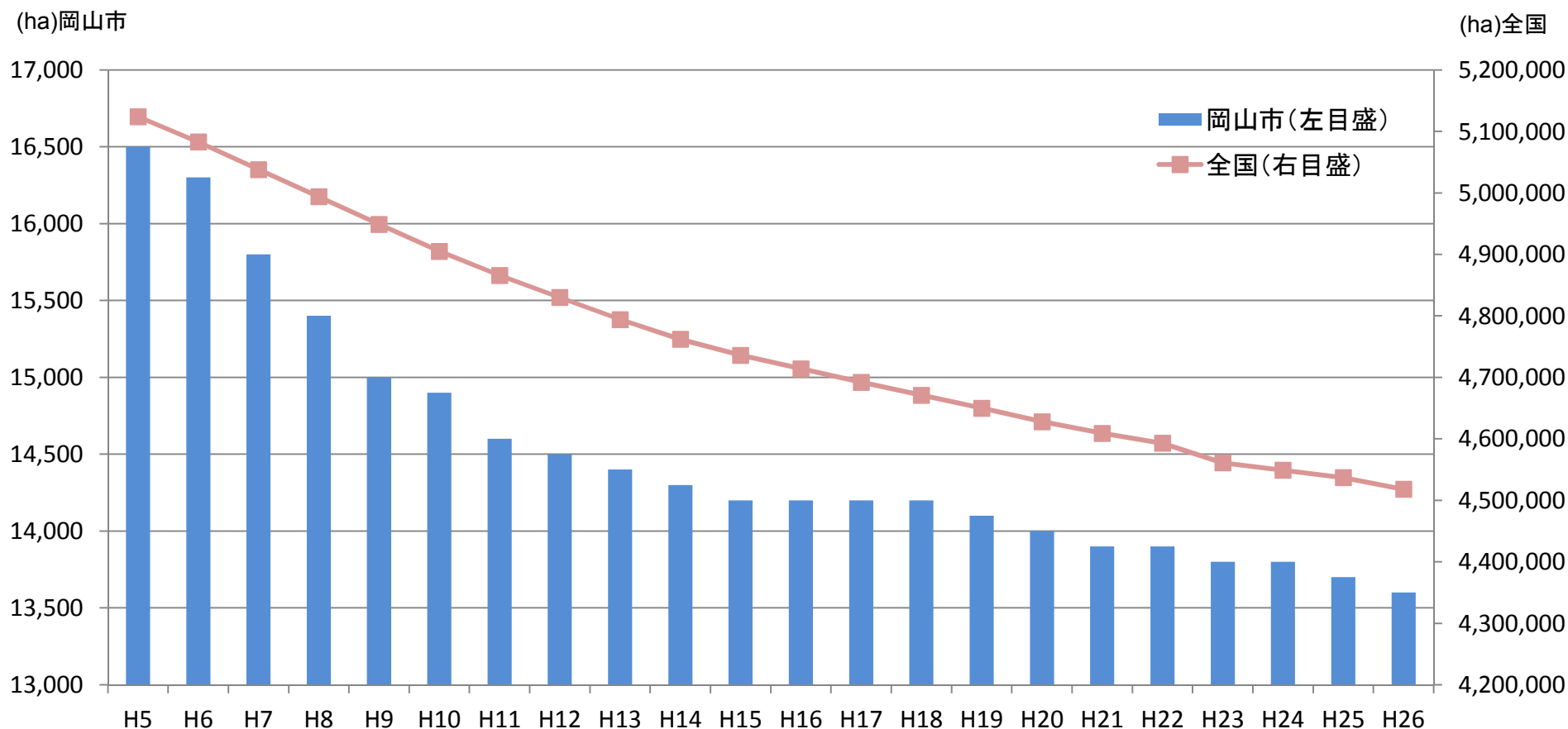
# 年齢別農業就業人口

○岡山市の農業就業人口の約半分は女性であり、50歳代では女性の割合が特に高くなっている。また、男性、女性とも、40歳未満の従事者は著しく少ない。



# 岡山市の耕地面積の推移

○岡山市の耕地面積は、平成5年度1.65万haから平成26年度1.36万haと、約20年間で約2,900haが減少している(約18%減少)。  
 ○全国においても、平成5年度512.4万haから平成26年度451.8万haと、約20年間で60.6万haの耕地が減少している(12%減少)。



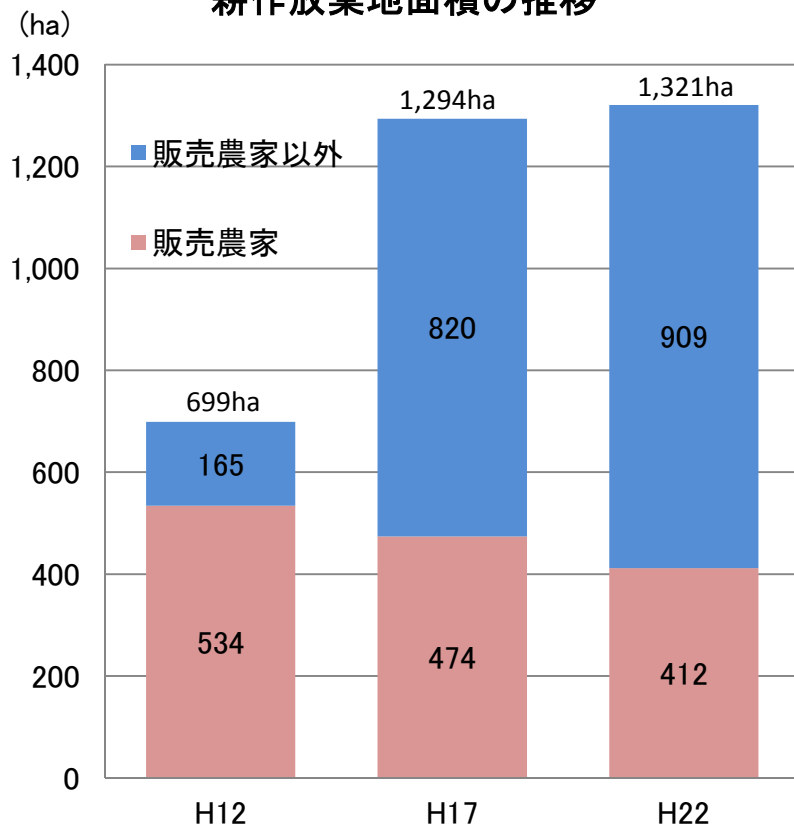
H16年度：旧御津町・灘崎町、H18年度：旧建部町、瀬戸町合併を含む

資料：耕地面積統計

# 岡山市の耕作放棄地面積の推移

○耕作放棄地は、2000年から5年間で倍増したが、2005年からの5年間は微増にとどまっている。  
○岡山市の耕作放棄地の面積割合は11%で、そのうち北区に57%が分布している。

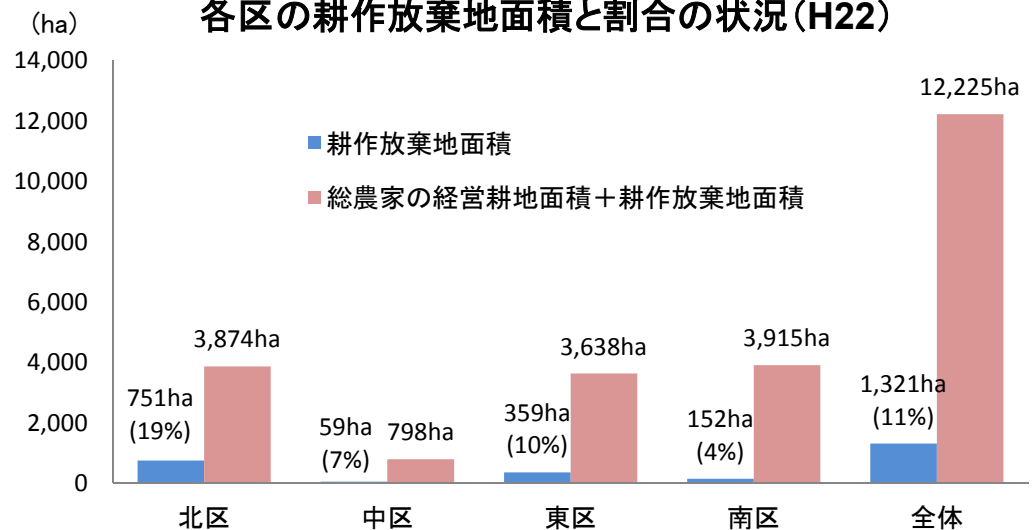
### 耕作放棄地面積の推移



※合併地域を含む

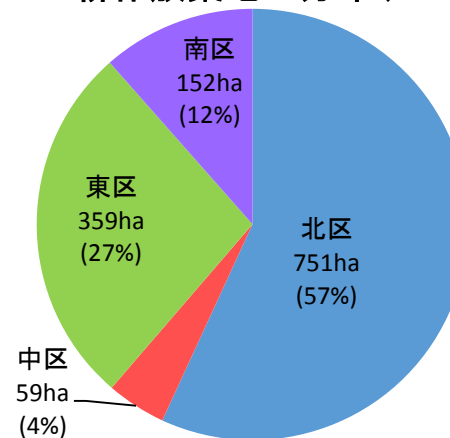
資料: 農林業センサス

### 各区の耕作放棄地面積と割合の状況(H22)



資料: 2010農林業センサス

### 耕作放棄地の分布(H22)



資料: 2010農林業センサス

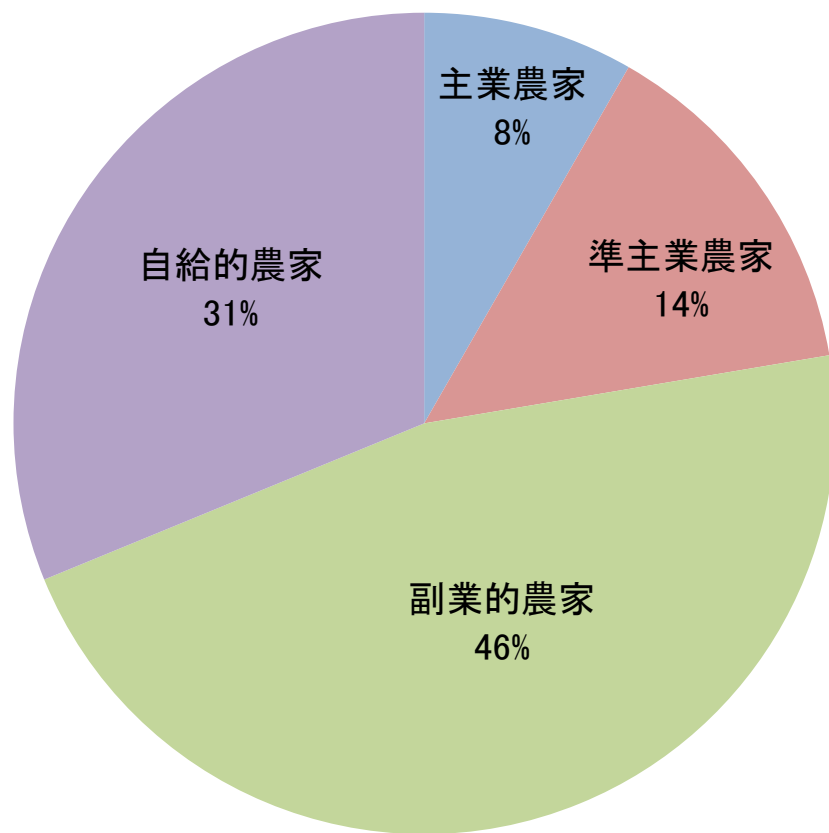
※「耕作放棄地」とは、以前耕地であったもので、過去1年以上作物を栽培せず、しかもこの数年の間に再び耕作する考えのない土地のことをいう。

※「経営耕地」とは、調査期日現在で農林業経営体が経営している耕地をいい、自作地と借入耕地の合計をいう。



# 岡山市の農家の内訳

○岡山市の農家は副業的農家が46%を占め、主業農家は8%にとどまる。



参考：岡山県の主業農家割合：6%  
 全国の主業農家割合：14%

農家種別		説明
販売農家	主業農家	農業所得が主(農家所得の50%以上が農業所得)で1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる農家をいいます。
	準主業農家	農外所得が主(農家所得の50パーセント未満が農業所得)で1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる農家をいいます。
	副業的農家	1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいない農家(主業農家、準主業農家以外の農家)をいいます。
自給的農家		経営耕地面積が30アール未満かつ調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家をいいます。

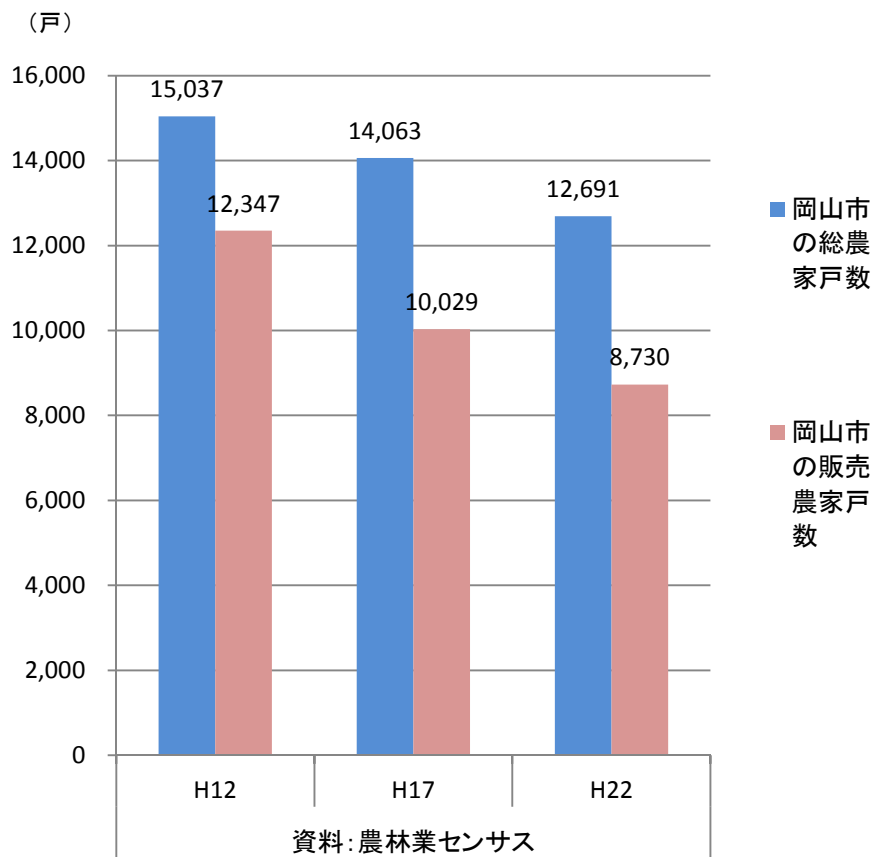
資料：2010農林業センサス

# 岡山市の農家戸数と経営耕地面積

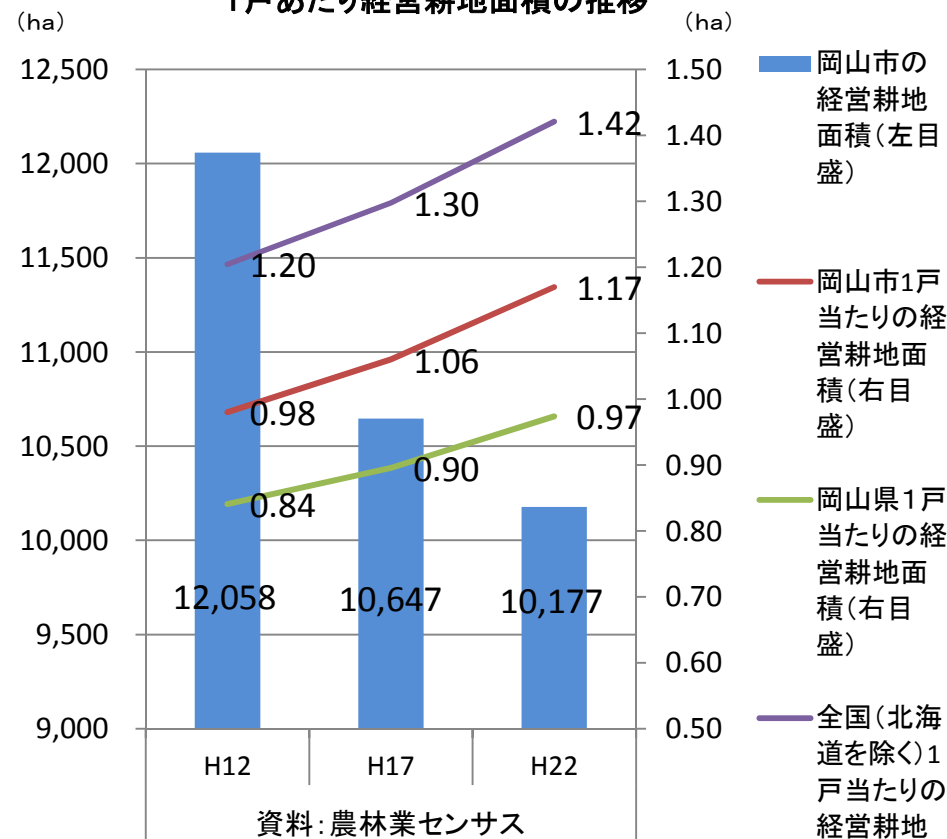
○岡山市の農家戸数は毎年減少しており、過去10年間で総農家数は2,346戸、15.6%の減少、販売農家は3,617戸、29.2%の減少となっている。

○岡山市の販売農家の経営耕地面積の合計は、販売農家数が減少していることもあり、15.5%減少したが、逆に1戸当たりの経営耕地面積は19.3%増加している。

農家戸数の推移



経営耕地面積(販売農家)と1戸あたり経営耕地面積の推移

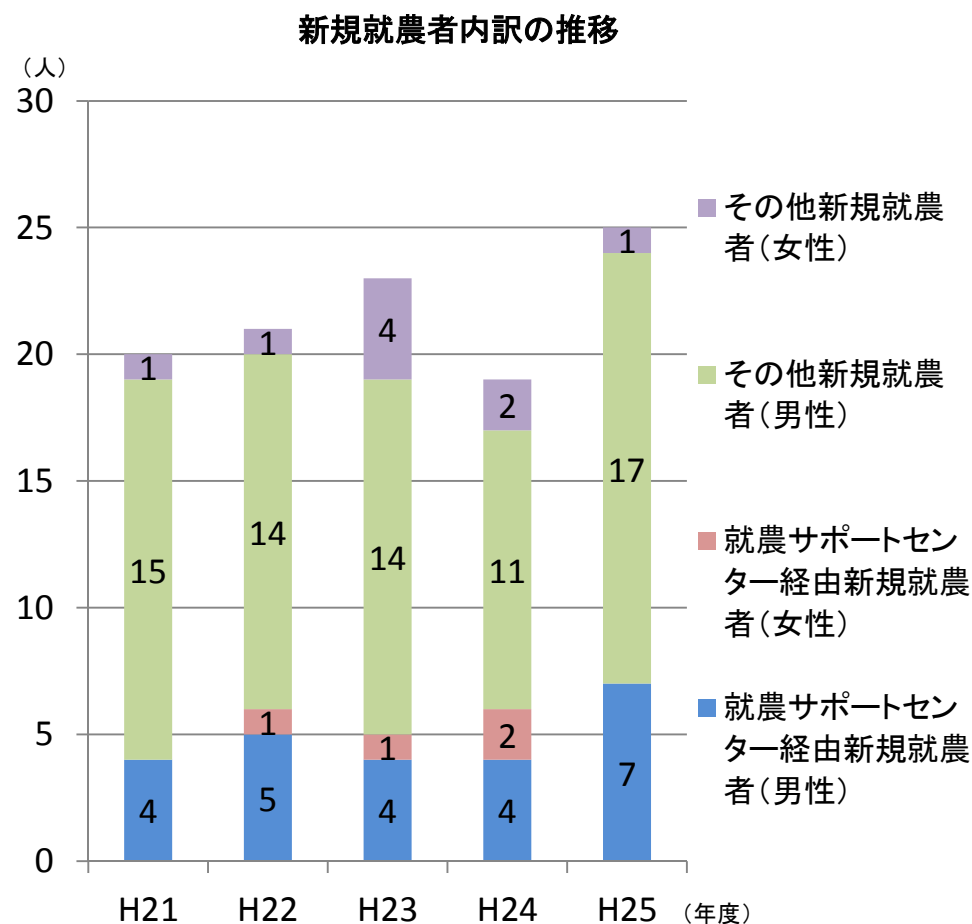
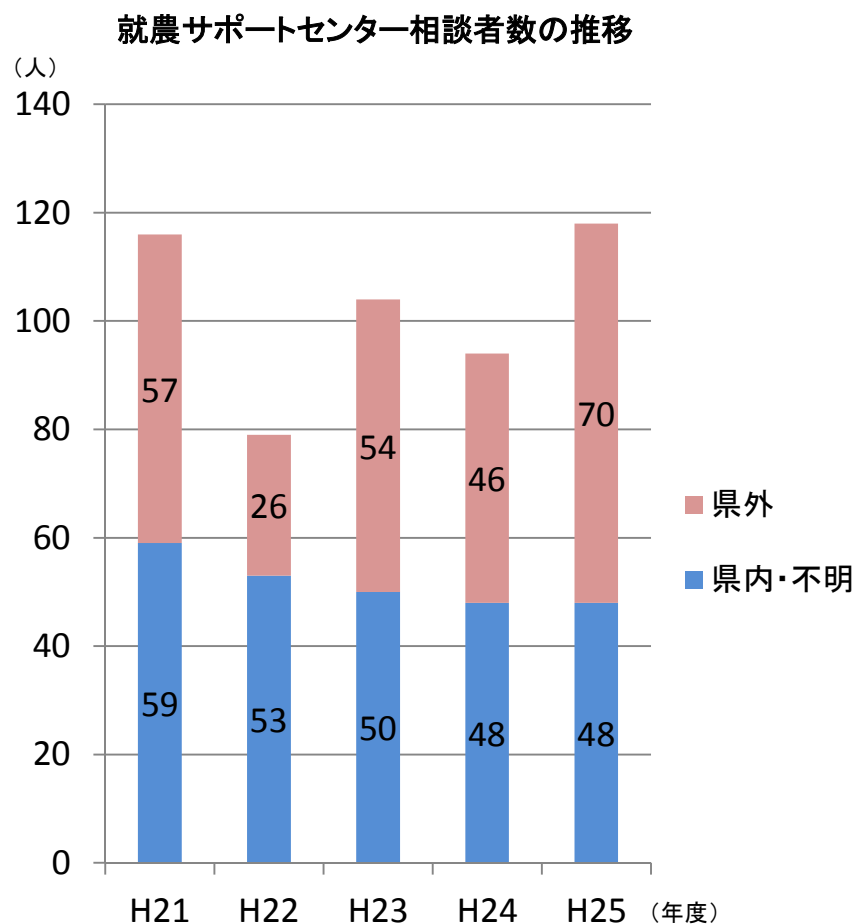


※「農家」とは、経営耕地面積が10アール以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が15万円以上の世帯をいう。  
 ※「販売農家」とは、経営耕地面積が30アール以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。  
 ※「経営耕地」とは、調査期日現在で農林業経営体が経営している耕地をいい、自作地と借入耕地の合計をいう。

# 岡山市の新規就農の状況

○平成21年度から本格稼働した岡山市就農サポートセンターにおける相談者数は、全体としては増加傾向にある。

○平成21年から25年にかけて新規に就農した者のうち、岡山市就農サポートセンター経由で就農した人は28人(全体の26%)である。



資料: 岡山市就農サポートセンター

# 岡山市内の農業水利施設

○岡山市では、鹿田遺跡や津島遺跡等に代表されるように古くから稲作が行われ、また、その後の干拓事業等により、農業水利施設が多く整備され、市内には多くの水路やため池が存在している。

○岡山県は全国6位のため池数であり、その中で岡山市は約1,400箇所のため池があり、県内1位である。

## ○先人たちが整備した市内の農業水利施設

降水量が少なかったことから、先人たちは多大な労力により、農業用水を確保

- ・三大河川を利用した堰、水路網の整備
- ・標高の高い場所でのため池の整備
- ・広大な農地を確保する干拓とそれを潤す児島湖の淡水化



坂根堰(吉井川)



干拓地と児島湖



倉安川 吉井水門

潮止め夜間工事(昭和23年)

## ○市内に存在する多くの農業水利施設



農業用水路  
(約4,000km)



ため池  
(約1,400箇所)



樋門  
(約4,000箇所(幹線))



ポンプ場  
(約130箇所)

地域の農業水利土木員等や農業者を中心に維持管理

## ○市内のため池数

参考: 都道府県別のため池数上位ランキング (H9農水省)

No.	都道府県名	箇所数	No.	都道府県名	箇所数
1	兵庫県	47,596	6	岡山県	10,304
2	広島県	20,910	7	宮城県	6,074
3	香川県	15,990	8	和歌山県	5,925
4	山口県	11,785	9	新潟県	5,822
5	大阪府	11,308	10	島根県	5,782

全国合計 約21万

○農業・農村は、洪水の防止、自然環境の保全、農村景観の形成などの多面的機能を有している。国は、本機能の発揮を支える水路の泥上げ等の地域活動を支援することにより、農村コミュニティを再生・強化する「多面的支払機能制度」を措置している。

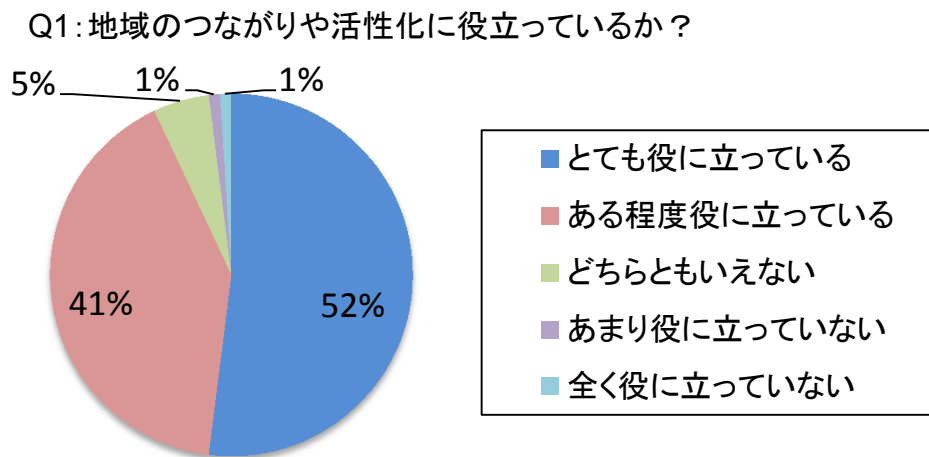
○同制度は、全国の農用地面積の約46%で取り組まれている一方、岡山市では、平成26年度時点で、南区を中心に1,500ha(9組織)で取り組まれているが、農用地面積に対するカバー率は11%にとどまる。

## 多面的機能支払制度(農地維持)の取組状況

H26年度 (見込み)	組織数 (組織)	取組 面積 (ha)	農用地 面積 (ha)	カバー率
全 国	24,890	1,961,224	4,219,000	46%
岡山県	358	11,238	61,525	18%
岡山市	9	1,500	14,000	11%

資料: 岡山市(H26年度時点)

## 多面的機能支払制度に取り組む組織に対するアンケート結果



資料: 農水省(H23年3月実施:活動組織アンケート)

Q2: 地域づくりのための話し合い(寄合)の回数  
対策前: 8.5回/年 → 現在: 13.5回/年

Q3: 行事やイベントの回数  
対策前: 6.4回/年 → 現在: 8.6回/年

資料: 農水省(H21年12月実施:活動組織アンケート)



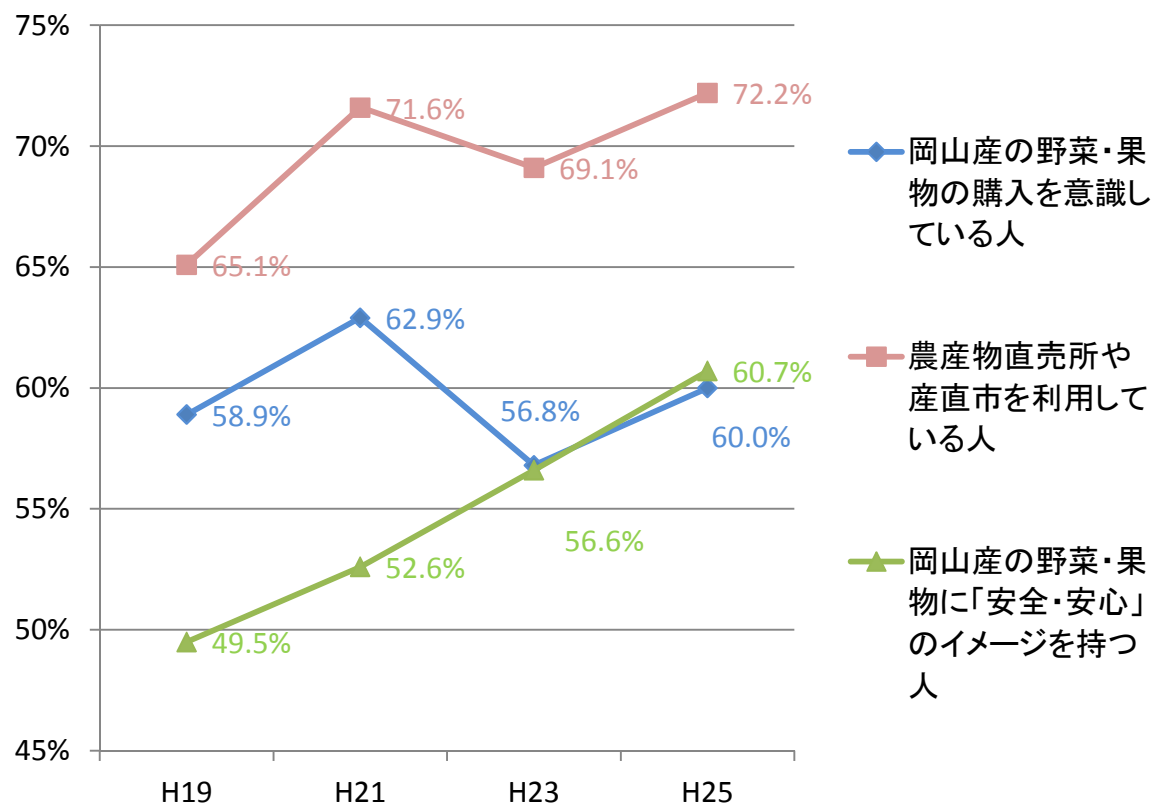
# 地産地消に対する岡山市民の意識等

○「野菜・果物の購入時に岡山産を意識している市民」、および、「農産物直売所や産直市を利用している市民」の割合は、どちらも年々高まる傾向にあり、平成25年度はそれぞれ60.0%、72.2%である。

○「岡山産の野菜・果物に対して、安全・安心のイメージを持っている市民」の割合は、年々高まっており、平成25年度は60.7%である。

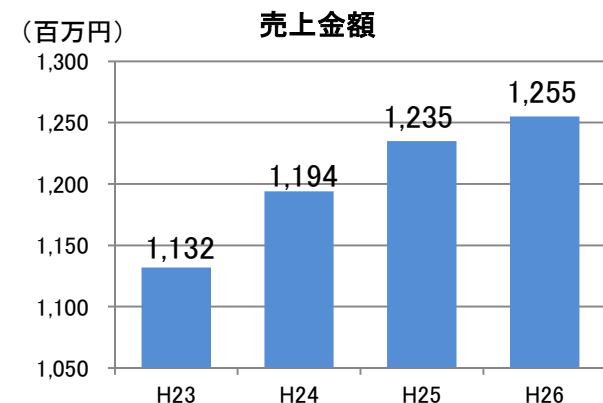
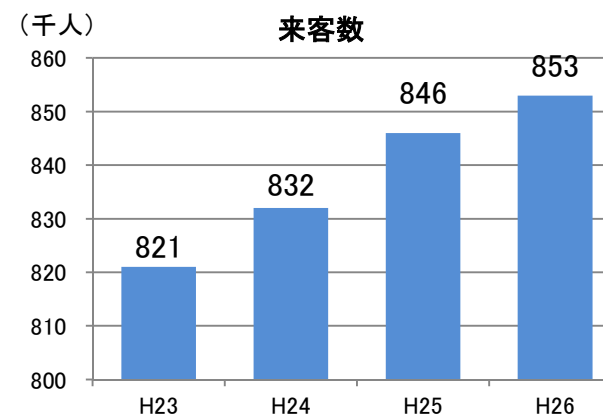
○岡山市内のJA岡山直売所では、来客数・売上金額ともに右肩上がりで推移している。

地産地消に対する岡山市民の意識



資料：岡山市市民意識調査

岡山市内のJA岡山直売所(7店舗)来客数と売上金額の推移



資料：JA岡山